令和７年度

１　事　業　報　告　書

（自）令和７年４月１日（至）令和８年３月 31 日

社会福祉法人　ふじの園

法　人　本　部

1　社会福祉法人ふじの園基本理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。

そして、子どもたちが自分らしく幸せに生きていくことができるように、いつでもどんな時でも子どもたちを支えていきたいと願っています。

2　事業概況

令和７年度も事業を実施する上で感染症等の影響が少なからずありましたが、一関藤の園ではクリスマス会をはじめ各種事業を通常どおり実施しました。地域小規模児童養護施設アグネスホームの新築工事は順調に進み、２月 27 日に引渡しを受けて３月から新しいホームでの生活が始まっています。退所は高校生３名が卒業し就職しました。進学は中学生３名が公立高校、私立高校、支援学校に進みました。８年度は 31 名の児童でスタートします。

一関藤保育園では人数制限等を無くして好評を博したクリスマス会をはじめ順調に事業を行いました。年度末には園長の退職に伴い、園長、副園長、主幹保育教諭が一新しました。また、３月付けで保育教諭を１名採用したことにより、職員数が配置基準を満たしました。８年度の入所希望者は定員 105 名に対し 98 名です。

新規事業として取り組んでいる一関市子ども第三の居場所・児童育成支援拠点事業「うぃすてりあ」は登録者 22 名で１日平均７、８名が利用し、軌道に乗りつつあります。

経営面においては児童養護施設に措置される子どもや保育園に入園する子どもの減少、人材確保等の課題に対応する運営の工夫がより一層求められています。

法人本部は、令和７年度もそれぞれの施設の成果と課題を把握し、法令遵守や職員の力を高めるための研修の充実や処遇改善等に指導的役割を担ってきました。引き続き令和８年度も各事業所の安定した運営をしっかり支援していきます。

3　理事会の開催状況

法人の業務が円滑に推進されるように必要に応じて理事会を次のとおり開催しました。

開催日	出席者数	主　な　内　容
令和７年 ６月６日 定　時 (第１回)	理事６名 監事２名	主に令和　６年度各事業報告及び各決算報告についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 １　決議事項 ⑴令和６年度各事業報告及び各決算報告(計算関係書類)の承認について 監事監査報告 ⑵社会福祉法人ふじの園定款の一部改正（案）の承認について ⑶社会福祉法人ふじの園役員等に関する報酬規程の一部改正（案）の承認について ⑷一関市山目字前田 71－4 の土地の購入について ⑸第三の居場所うぃすてりあに係る車両購入について ⑹令和７年度資金収支補正予算案の承認について ⑺次期理事・監事の選任候補者の推薦について ⑻次期評議員の選任候補者の推薦について ⑼令和７年度評議員選任・解任委員会の招集事項について ⑽令和７年度定時評議員会の招集事項について ⑾児童養護施設一関藤の園入所定員の変更について

		2　報告事項 ⑴理事長の職務執行状況の報告について ⑵令和６年度法人本部及び各施設の要望等解決事業の結果について ⑶令和７年度児童育成支援拠点事業委託契約書及び令和７年度一関市こども第三の居場所推進事業（運営事業・車両事業）補助金交付契約書の締結について ⑷地域小規模児童養護施設建築工事に係る指名競争入札の結果について ⑸令和６年度資金収支予算の予備費の使用の専決処分について
開催日	出席者数	主　な　内　容
令和７年 ６月24日 臨　時 （第１回）	理事６名 監事２名	主に社会福祉法人ふじの園理事長選定と常務理事の任命について審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1　決議事項 ⑴社会福祉法人ふじの園理事長の選定について ⑵社会福祉法人ふじの園常務理事の任命について 2　報告事項 ⑴評議員選任・解任委員会の報告
開催日	出席者数	主　な　内　容
令和７年 11月27日 定　時 （第２回）	理事６名 監事２名	主に育児・介護休業等に関する規則・職員就業規則・嘱託職員等就業規則・嘱託職員等給与規程の一部改正案についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1　決議事項 ⑴社会福祉法人ふじの園育児・介護休業等に関する規則の一部改正案について ⑵各施設・事業所の職員就業規則の一部改正案について ⑶各施設・事業所の嘱託職員等就業規則の一部改正案について ⑷各施設・事業所の嘱託職員等給与規程の一部改正案について ⑸児童養護一関藤の園自立支援寄附金給付規程の改正案について ⑹一関市山目字前田70-１、71-１に係る外構工事について ⑺法人本部及び各施設・事業所に係る資金収支補正予算案について 2　報告事項 ⑴理事長の職務執行状況の報告について ⑵児童養護施設一関藤の園に係る地域小規模児童養護施設新築工事の進捗状況について ⑶法人本部及び各施設・事業所の事業計画の進捗状況について
開催日	出席者数	主　な　内　容
令和８年 ３月24日 定　時 （第３回）	理事６名 監事２名	主に令和７年度資金収支補正予算案と令和８年度事業計画案・資金収支当初予算案についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1　決議事項 ⑴社会福祉法人ふじの園監事監査規程（案）の制定について ⑵社会福祉法人ふじの園経理規程の一部改正（案）について ⑶社会福祉法人ふじの園役員旅費規程及び職員旅費規程の一部改正（案）について ⑷社会福祉法人ふじの園資格取得等助成金交付規程の一部改正（案）について

		⑸児童養護施設一関藤の園職員就業規則の一部改正（案）について ⑹認定こども園一関藤保育園職員給与規程及び嘱託職員等給与規程の一部改正（案）について ⑺令和７年度法人本部及び各施設・事業所の資金収支補正予算（案）について ⑻児童養護施設一関藤の園に係る第５次中長期事業計画（案）について ⑼令和８年度法人本部及び各施設・事業所の事業計画（案）について ⑽アグネスホーム及びうぃすてりあに係る外構工事（案）について ⑾令和８年度各施設会計から法人本部会計への繰入（案）について ⑿令和８年度法人本部及び各施設・事業所の資金収支当初予算（案）について ⒀認定こども園一関藤保育園に係る斎藤志華子園長の退任について ⒁認定こども園一関藤保育園に係る新園長及び新副園長の選任について ⒂社会福祉法人ふじの園に係る斎藤志華子理事の退任に伴う新理事の選定について ２　報告事項 ⑴職務執行状況（令和７年11月～令和８年３月）の報告について ⑵児童養護施設一関藤の園に係る寄附金受入れの理事長専決について ⑶児童養護施設一関藤の園に係る県南広域振興局指導監査課による指導監査結果について ⑷児童養護施設一関藤の園に係る一関労働基準監督署による労働条件等の調査結果について ⑸児童養護施設一関藤の園に係る福祉サービス第三者評価の受審結果について ⑹地域小規模児童養護施設アグネスホーム新築工事に係る収支報告について

４　評議員会の開催状況

法人の議決機関として評議員会を次のとおり開催しました。

開催日	出席者数	主　な　内　容
６月24日	評議員 ７名	主に令和６年度法人本部及び各施設の事業報告、令和７年度の事業計画の報告令和６年度決算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認についての審議を中心に開催され、提案が承認されました。 １　決議事項 ⑴令和６年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について 監事監査報告 ⑵社会福祉法人ふじの園定款の一部改正（案）の承認について ⑶社会福祉法人ふじの園役員等に関する報酬規程の一部改正（案）の承認について ⑷一関市山目字前田71－4の土地の購入について ⑸児童養護施設一関藤の園に係る地域小規模児童養護施設の新築について ⑹次期理事・監事の選任候補者の選任について ２　報告事項 ⑴令和６年度法人本部及び各施設の事業報告について ⑵令和７年度事業計画及び資金収支当初予算（補正予算）について ⑶評議員選任・解任委員会の報告

5　監事による監査

期 日	出席者数	主　な　内　容
令和７年５月 26、28 日	監事２名	令和６年度事業・決算監査及び令和７年１～３月分の出納調査
令和７年９月８、９日	監事２名	令和７年４～６月分の出納調査
令和７年 11 月５、12 日	監事２名	令和７年７～９月分の出納調査
令和８年 ２月２、３日	監事２名	平成７年 10～12 月分の出納調査

6　会計事務所による監査

監査実施者	主　な　内　容
税理士法人奥州会計 熊谷徹哉事務所	毎月１回、拠点区分ごとに元帳及び月次試算表の精査 伝票と証憑書類の突合

7　県南広域振興局及び一関市による指導監査

実施日	監査機関	対象施設	結　果　内　容
令和８年１月７日	県南広域振興局指導監査課	一関藤の園	概ね良好

8　登記関係

登記日	主　な　内　容
令和７年７月３日	理事長重任登記
令和７年７月３日	資産総額の変更登記 令和７年３月 31 日変更 資産総額 17 億 9882 万 7,390 円を 18 億 3808 万 5,852 円に変更
令和７年 11 月４日	土地購入　一関市山目字前田 71 番地４ 297.56 ㎡
令和８年３月 27 日	地域小規模児童養護施設アグネスホーム建物（表題）一関市山目字前田 70 番地１ １階 94.83 ㎡　２階 96.90 ㎡

9　要望等解決事業体制

	苦情受付担当者	苦情解決責任者	第三者委員	受付件数
法人本部	渡部 俊幸 （法人事務局長）	橋本 欽哉 （法人理事長）	佐々木承子 （元 PTA 会長）	0
一関藤の園	千葉　美樹子（副園長） 千葉　麻子　（保育士）	渡部 俊幸（園 長）	小山峯雄　（地域代表） 佐々木承子（元 PTA 会長）	2
一関藤保育園	佐々木 利恵（副園長）	斎藤志華子 （園 長）	久保田文吾（歯科医師） 米田 剛史（公務員）	1
第三の居場所うぃすてりあ	渡部 俊幸 （法人事務局長）	橋本 欽哉 （法人理事長）	佐々木承子 （元 PTA 会長）	0

10　情報公開

	役員名簿	財産目録	事業計画書	事業報告書	第三者評価結果	苦情処理結果	貸借対照表	資金収支報告書	事業活動計算書
閲　覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホームページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広報誌 (一関藤の園)			○	○				○	○

11　令和７年度地域貢献活動

活動名	活動内容	回数
子ども食堂	年３回、春休みや夏休み、冬休みに山目市民センターを利用する児童を対象に子ども食堂を開催する。参加者は毎回約 20 名です。	3
あんしんサポート事業	岩手県社会福祉法人経営者が中心となり、困窮世帯を経済的に支援する取組です。	1

令和７年度

２　事　業　報　告　書

（自）令和７年４月１日（至）令和８年３月31日

社会福祉法人　ふじの園

児童養護施設一関藤の園

令和７年度事業報告　児童養護施設一関藤の園

１　一関藤の園基本理念・基本方針・養護目標

1　社会福祉法人ふじの園基本理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

私たちの法人・施設は、キリスト教のカトリックの精神を拠りどころに運営されています。私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。

2　児童養護施設一関藤の園基本理念・養護方針・養護目標

・基本理念『祈りと感謝の心』

私たちは、キリストの愛の精神に基づき、子どもの生命と人権を守り、自己実現と自立のために継続的な養育を通して子どもの最善の利益の実現をめざします。

・養護方針

私たちは、日本国憲法、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法の精神を尊重しキリスト教の理念である愛と平和と平等をもとに子どもの育ちを保障し次に掲げる養護方針を実践します。

(1)　私たちは、家庭的養護と子ども一人ひとりのニーズに応じた養育をおこないます
(2)　私たちは、子どもの発達を保障し自立支援の充実につとめます
(3)　私たちは、子どもの心身の回復をめざした支援をおこないます
(4)　私たちは、家族との信頼関係を築き連携・協働した支援をおこないます
(5)　私たちは、継続的な支援と連携アプローチによる支援をおこないます
(6)　私たちは，ライフサイクルを見通した支援をおこないます

・養護目標（めざす子ども像）

『自己実現のために個性や可能性を最大限に発揮して未来を切り拓く子ども』

(1)　『ありがとう』と言える子どもの育成
（素直に感謝の気持ちを表現できる子ども）

(2)　『ごめんなさい』と言える子どもの育成
（素直に自分のおこないを振り返ることができる子ども）

(3)　『お願いします』と言える子どもの育成
（良好な人間関係を築くことができる子ども）

２　令和７年度の主な出来事（敬称略）

日　時	主　な　出　来　事
４月 １日	本園定員を 40 名から 10 名減員し 30 名とする。地域小規模児童養護施設マリアホームの定員６名と合わせて 36 名となる。入所児童は 32 名（一時保護児童１名含む。）、職員 38 名でスタートする。
４月 ６日	山王温泉瑞泉郷に招待される。
４月 18 日	受水槽清掃点検及び消防設備点検をする。
４月 20 日	ご復活のミサに預かる。
４月 27 日	園遊会を行う。
５月 11 日	マリア祭を行う。
５月 15 日	63 回目の開園記念日を祝う。
６月 ７日	地域小規模児童養護施設アグネスホーム新築工事の請負契約を締結する。
６月 13 日	福祉サービス第三者評価の研修会を実施する。
６月 22 日	大洋学園主催のにじっ子フェスタに参加する。
６月 24 日	定時評議員会・臨時理事会が開催される。
６月 26 日	熱気球搭乗体験の招待を受ける。
７月 29 日	転地養護を実施する。（～30 日：東松島海水浴場、仙台海の森水族館）
８月 １日	地域小規模児童養護施設アグネスホーム新築工事の起工式を行う。
８月 ３日	NPO みらいの森主催のサマーキャンプに参加する。（～７日：花山青少年自然の家）
８月 ６日	ＪＡ平泉よりとうもろこしの収穫体験の招待を受ける。
８月 ７日	法人主催の子ども食堂（年３回）に参加する。
８月 14 日	卒園生との野球大会を行う。
８月 23 日	ヴァイオリンのコンサートを開いて頂く。
８月 24 日	マリア祭を行う。
８月 29 日	42 回目の一関中央ライオンズクラブ主催の夏祭りを行う。
９月 17 日	職員対象の救命救急講習会を行う。
９月 23 日	ＢＢＳ球技大会に参加する。
９月 27 日	ボランティアによる「まんぷく食堂プロジェクト」を実施していただく。
10 月 12 日	運動会を行う。
10 月 19 日	福祉サービス第三者評価訪問調査を受ける。
10 月 29 日	第２回定時理事会が開催される。
11 月 ２日	一関地区少年警察ボランティア協会との交流会を行う。
11 月 ４日	山目字前田 71－４の土地（297.56 ㎡）を購入する。
11 月 23 日	こどもアドボケイト説明会を行う。
12 月 ４日	特別養護老人ホーム福光園を訪問し入所者へプレゼントを渡す。
12 月 ５日	サンタニコラオのお祝いをする。
12 月 12 日	来客を招いてのクリスマス会を行う。
12 月 25 日	一関カトリック教会のクリスマスミサに預かる。
１月 ７日	県南広域振興局による指導監査がある。
２月 27 日	地域小規模児童養護施設アグネスホーム新築工事完了し引渡しを受ける。
３月 11 日	東日本大震災から 15 年となり追悼の集いを開く。
３月 24 日	第３回定時理事会が開催される。
３月 29 日	新体制がスタートする。地域小規模児童養護施設アグネスホームでの生活が始まる。

３ 令和７年度事業計画の総括

１ 施設運営関係

⑴ 定員の変更

令和７年４月より入所児童の減少等から本園の定員を 40 人から 10 人減員し定員を 30 人としました。減員に伴い本園ホーム６ホームから１ホームを閉鎖し５ホーム（６人×５ホーム）としました。地域小規模児童養護施設マリアホームの定員６人と合わせて施設全体の定員を 36 人としました。

⑵ 地域小規模児童養護施設「アグネスホーム」の開設

一関市前田地区（第三の居場所うぃすてりあの同一敷地内）に２か所目となる地域小規模児童養護施設「アグネスホーム」を開設しました。建築工事は、６月に施工業者と契約を締結し８月から本格的に着工し令和８年２月末に建物の引渡しを受け、３月末に引越しを終え、新体制に合わせて５人の女子児童と５人の職員が本園から異動しました。

⑶ 福祉サービス第三者評価の受審

岩手県社会福祉協議会による福祉サービス第三者評価を受審しました。評価結果は共通評価が 45 項目中「a」評価が 24 項目、「ｂ」評価が 21 項目、内容評価は 24 項目中「ａ」評価が 21 項目、「ｂ」評価が 3 項目でした。施設運営の課題としては、人材の確保と定着及び人材育成、労働環境の改善等が挙げられました。

２ 養育関係

⑴ こどもの意向を尊重した養育

令和７年４月当初、入所児童 32 人（一時保護児 1 人含む）からのスタートでした。自治会やホーム会議、要望ノートの活用、県の意見表明支援事業により、こどもの意見や意向を尊重した養育に努めました。地域のスポーツ少年団活動や各種スポーツ競技大会等へ積極的な参加を奨励しました。職員は普段の生活場面での傾聴を心がけ、こどものやってみたいことに協力し最大限に応える養育に努めました。

⑵ 安全・安心・安定した生活の推進

リスクマネジメント委員会、安全委員会、感染症対策委員会、性教育委員会、メディア委員会の活動を通して、様々なリスクからこどもたちを守り、こどもたちが安全・安心・安定した生活を実感できる支援の充実に努めました。

⑶ 退所前・退所後の支援体制の充実

主に高校２年生は空きユニットやヨゼフ寮を利用して自立生活訓練を実施しました。高校３年生に対しては、進学・就職支援寄附金交付規程を見直し給付内容及び給付額を手厚くしました。また、退所するこどもに対してはリービングケアの充実を図るとともに関係機関とも連携し退所後の生活を想定した支援の充実に努めました。

⑷ アフターケアの充実

退園したこどもたちへのアフターケアを丁寧に実施することができました。家庭訪問や面談等を実施し悩み事等の相談には迅速に対応することができました。また、必要に応じて関係機関等とも緊密に連携し対応しました。園遊会や野球大会を通して交流を図りました。こどもからのＳＯＳについては、その都度家庭支援専門相談員等が対応しています。

３　人事・労務・研修関係

⑴　人材確保

栄養士、調理員、心理療法担当職員が不在であり家庭支援専門相談員が兼務で業務にあたっています。職員配置基準は年間を通して４：１となっていますが、職員不足の状況が続いています。社会的養護総合情報サイト「ちゃぼナビ」へ求人登録を行うなど処遇職員及び加算職員を配置できるよう採用に力を入れています。

⑵　人材育成

大学教授等を招いての内部研修を充実させるとともに外部研修にも職員を積極的に派遣することができました。児童養護施設藤聖母園（青森市）との交換実習や県内施設の見学など職員のニーズに沿った研修を実施しました。また、資格取得等助成金交付規程の交付金額を見直し様々な資格を取得できるようにしました。

⑶　労働時間の管理

労働時間の勤怠システムによる労働時間の自己管理と把握に努めました。適正な労働時間の管理と合わせて業務の効率化等職員の意識改革にも取り組んでいます。また、令和８年４月から処遇職員の早番勤務を５時 30 分の出勤から 30 分繰り下げて６時からとします。

正職員の有給休暇等を含めた年間平均休日取得日数は 112.8 日となっています。

⑷　改正育児・介護休業法への対応

令和７年４月１日より育児・介護休業法が改正されたことに伴い就業規則や育児・介護休業に関する規則を改正し職員に周知しました。また、特別有給休暇として年５日の不妊治療休暇を設けました。

４　施設機能強化関係

児童養護施設には高機能化、多機能化が求められていますが、その一環として近隣４市町との委託契約による短期子育て支援事業、法人主催の年３回の子ども食堂への協賛、あんしんサポート事業、第三の居場所「うぃすてりあ」との連携、実習生や見学者、ボランティアの受入れ、講演活動等を実施しました。

５　施設整備関係

⑴　地域小規模児童養護施設「アグネスホーム」の建設

・定員６名（個室面積 9.11 ㎡　2.76 坪）

・所在地　一関市山目字前田 70－1

・建物の概要

木造亜鉛メッキ鋼板ぶき２階建て　床面積　191.73 ㎡（58.1 坪）

リビング兼食堂　キッチン　浴室　トイレ２　職員室　児童用居室６室

・事業費

建築工事　84,755,000 円（建築工事 80,795,000 円　設計・監理費 3,960,000 円）

その他　　1,500,000 円

総事業費　86,255,000 円（県補助金 46,842,000 円　施設負担 39,413,000 円）

⑵　土地の取得

住所　一関市前田 74－1　宅地　297.56 ㎡（約 90 坪）

取得価格 9,000,000 円

取得年月日　令和７年 11 月４日

３－(1)　令和７年度の施設運営重点施策の自己評価

No.	重点施策項目	具体的な成果や問題点・課題
1	地域小規模児童養護施設アグネスホームの開設	地域分散化の一環として、山目字前田地区（第三の居場所うぃすてりあ隣接地）に新たに地域小規模児童養護施設を設置する計画を進めました。ホーム名をアグネスホームとし定員は６名。令和８年３月末に女児５名が本園からアグネスホームに転居しました。 課題として、敷地の外構工事や本園の空きユニットの活用方法等が挙げられます。
2	権利擁護と法令遵守	園内研修で被措置児童等虐待に関する報告書をもとに虐待事例の読み合わせを行うとともに日頃の養育のあり方についてグループワークを実施しました。また、こどもの権利条約の理解や「いわてこどもけんりノート」の読み込み、職員の毎月の子どもとの関わりに関する自己チェックを実施しました。 課題としては、正職員以外の職員の権利擁護や法令遵守の研修の機会を確保していくことが挙げられます。
3	第三者評価の受審	令和７年９月に自己評価及び確認書類を提出し 11 月中旬に訪問調査がありました。 結果は、共通評価 45 項目中、a 評価 25 項目（55.6%）b 評価 20 項目（44.4%）、内容評価 24 項目中、 a 評価 22 項目（91.7%）、b 評価２項目（8.3%）という結果でした。前回受審結果に比べて、共通評価７項目で評価を下げ、内容評価は２項目で評価を上げました。 今後も継続的な取組みを実施していくことが肝要だと考えています。
4	安心・安全な施設運営	感染症対策、避難訓練、施設内外の危険個所や遊具の点検等を実施し安心・安全な施設運営に努めています。地震等の自然災害、胃腸炎を伴う集団感染、自転車や自動車による事故など、実際に起きたことを想定した対応や様々な危険因子やリスクがあることを職員やこどもにも周知しています。 課題としては、事業継続計画（BCP）の策定が挙げられます。
5	情報の共有と職員の連携	シフト制や小規模化により情報の共有化を図っていくことが大切だと考えています。情報の共有化については、朝会やホーム会議、フロア会議の他、各種会議や委員会、ラインワークスにより情報の共有化を図っています。また、情報の共有化により子どもの理解や職員の孤立化の防止にもつながっています。 また、ホーム間の連携、異なる職種の職員間の連携を意識した業務の遂行に努めています。
6	経営の健全化・安定化	入所児童数の減少に伴い定員変更をしましたが、収入については前年と同額程度の収入となりました。地域小規模児童養護施設アグネスホームの開設費用については概ね予算通りに開設することができました。費用対効果や物品等の取扱い、光熱費等の節約等コストを意識した業務の遂行に努めました。

3－(2)　会議・委員会の開催状況

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	9	7	4	2		3	1	5	3	14	4	4	11
運営会議				23					24				2
主任会議	9	7・21	4・18	2・16	27	10・24	1・15	5・26	3・17	14	4・25	4・11	21
ホーム・フロア会議	30	7	4	9		3	1	5	3	21	4・25	11	12
ケース検討会議			11			18		12		21	18		5
自立支援会議		14・28					15・29						4
企画委員会	9・30	21	4	2	27	10	1	5	3	14	4		12
リスマネ委員会		21	18			24	22	26	10	14		4	8
給食委員会		14		9				26					3
安全委員会			25			24			17		25		4
感染症対策委員会			18			10		26					3
性教育委員会		21				10			10				3
苦情等解決委員会				3								5	2
広報委員会					27		29		10		18		4
メディア委員会				2			22		17				3
進学支援委員会													0
研修委員会	30					3					25	4	4
環境美化委員会			18			10		12					3
学習支援委員会				9			8			21		11	4

※　法人・施設業務連絡会　7/17、9/18、12/4、3/6

3－(3)　関係機関との連絡会議等の状況

日時	機関名等	参加職員	会議の内容
随時	もりおかユースポート	関係職員	卒園児の情報交換
〃	里親支援事業	関係職員	令和７年度里親制度普及啓発事業
〃	山目小学校との連絡会	関係職員	在学児の情報交換
〃	磐井中学校との連絡会	関係職員	在学児の情報交換
〃	花泉高等学校	関係職員	在学児の情報交換
〃	一関工業高等学校	関係職員	在学児の情報交換
〃	一関清明支援学校	関係職員	在学児の情報交換
〃	一関児童相談所	関係職員	在園児童の情報交換など
〃	岩手県福祉総合相談センター	関係職員	〃
〃	宮古児童相談所	関係職員	〃
〃	いちのせき若者サポートステーション	関係職員	入所児の自立支援
〃	一関市社会福祉協議会	関係職員	入所児・卒園生の支援
年３回	山目小学校学校運営支援協議会	1	学校運営に関する助言等
年１回	一関市要対協代表者会議	1	一関市要保護児童の状況等について
年４回	一関市要対協実務者会議	1	一関市要保護児童の状況等について
年４回	一関地区障害者地域自立支援協議会	1	こども部会としての活動
年３回	岩養協幹事会	2	県内児童養護施設の活動
年２回	児童協専門委員会	1	県内社会的養護関係施設の活動
年２回	一関市地域福祉計画推進会議	1	一関市地域福祉計画への意見や要望

３－(4)　一時保護委託・子育て支援事業の利用状況

事　業　名	利用家族数	利用人数	利用延べ日数	事　業　内　容
一時保護委託	２家庭	３名	362 日	児童相談所からの一時保護委託
ショートステイ事業	４家庭	５名	51 日	短期間の宿泊を含む養育支援
トワイライト事業	１家庭	１名	２日	一定時間の預かり

※短期子育て支援事業の委託契約市町・・一関市、平泉町、奥州市、金ヶ崎町

３－(5)　要望等解決事業の状況

要望・苦情内容	申　立　人					第三者への申立て
	小学生	中学生	高校生	その他	計	
他児への苦情・要望						
設備等への苦情・要望						
職員への苦情・要望	1			1	2	0
養育・食事に対する苦情・要望						
家族からの苦情・要望						
計	1			1	2	0

３－(6)　要望ノートの状況

件　　数	Ｒ７年度	Ｒ６年度	Ｒ５年度	Ｒ４年度	Ｒ３年度	備　　考
要望受付件数	1,623	1,664	1,782	885	894	物品の購入やどこかへ行きたい等の要望が多くありました。
解決済件数	1,428	1,454	1,645	781	814	
検討中	108	140	51	30	13	
解決が困難	46	17	9	16	12	
つぶやき	41	53	77	58	22	

※　要望ノートは、日常生活の会話の中で児童が呟いた言葉や要望を職員が書き留めたもの。

３－(7)　情報公開の状況

情報公開ツール	内　　容	部　数
広報誌　いちのせき藤の園　2025 年６月号	理事長あいさつ、ホーム紹介、新入学・入園、新任職員紹介、コロナ関連など	500
広報誌　いちのせき藤の園　2025 年９月号	園長所感、行事、令和６年度事業報告・決算報告、令和７年度事業計画など	500
広報誌　いちのせき藤の園　2026 年１月号	園長所感、行事紹介など	500
ホームページ（WWW.fujinosono.or.jp）	施設概要、令和６年度事業及び決算報告 令和７年度事業計画 行事等の投稿　など	随　時

３－⑻　実習生の受入状況

学　校　名	人数	実　習　期　間	実　習　内　容
仙台青葉学院短期大学	3	５月 26 日～６月４日	《研修内容》 ・理事長講話 ・基本理念について ・児童福祉の動向について ・安全対策について ・こどもの権利擁護について ・心理療法について ・ケースカンファレンス ・グループホーム見学 ・食育について ・家庭支援・里親について ・個別対応について ・安全委員会について ・看護師業務について ・苦情解決事業について ・年間行事について など
尚絅学院大学	4	６月９日～６月 18 日	
東北福祉大学	3	６月 23 日～７月２日	
仙台白百合女子大学	1	５月 27 日～６月５日	
宮城学院女子大学	1	８月 18 日～８月 27 日	
修紅短期大学	2 1 1	９月１日～９月 10 日 ９月 16～９月 25 日 ９月 16 日～９月 23 日 10 月８日～10 月９日	
専修大学北上福祉教育専門学校	1 1 2	12 月８日～12 月 17 日 12 月 10 日～12 月 19 日 １月 13 日～１月 22 日	
石巻専修大学	1	２月２日～２月 11 日	
合計受入校７校	20		
前年受入校 12 校	36		

３－⑼　ボランティアの受入状況（敬称略）

日　時	団体(個人)名	人数	活　動　内　容
年　間	高橋　竜	1	散髪
年　間	菅原　英雄	1	野菜の寄贈
年　間	あべ政サイクル	1	自転車の修理
年　間	中村　良子	1	子どもとの関わり
年　間	島田　恵子	1	年間を通しての食品の寄贈
年　間	セブンイレブン中里店		年間を通しての食べ物の支援
年　間	伊藤　勝利		段ボールの回収
年　間	パーラーＪ遊・ウインズ一関		定期的なお菓子の寄贈
年　間	ＪＡいわて平泉		米、野菜・果物等の寄贈
年　間	NPO 法人ハートアライズ		卒園生への日用品や食品のふるさと便
４．７	日本観光アセットマネジメント		温泉入浴と昼食の招待
６．28	一関・平泉黄金の國バルーンクラブ		熱気球の搭乗体験
８．６	とうもろこしの収穫体験	3	圃場にてとうもろこしの体験
８．10～14	NPO 法人みらいの森		サマーキャンプ招待
８．23	ステキナトリオ	3	ヴァイオリンのコンサート
８．29	一関中央ライオンズクラブ		第 42 回夏祭りの広場の開催
９．28	まんぷくレストランの開催	21	オフィースケイ、ブーシェル、ヨコレイ関係者
11．２	一関地区少年警察ボランティア協会	6	モルック　非行防止教室
12．５	一関遊技業協同組合	3	ケーキの寄贈
12．16	（株）ハタセ	4	クリスマスプレゼントと子ども達との交流
12．20	岩手県競馬組合	5	プレゼントと子ども達との交流
１．24	MISIA のコンサート招待		

※　令和７年度の食料品、衣類、文具等の物品の支援件数は年間 154 件（令和７年度は 169 件）

３－⑽　安全・安心を高める取組み

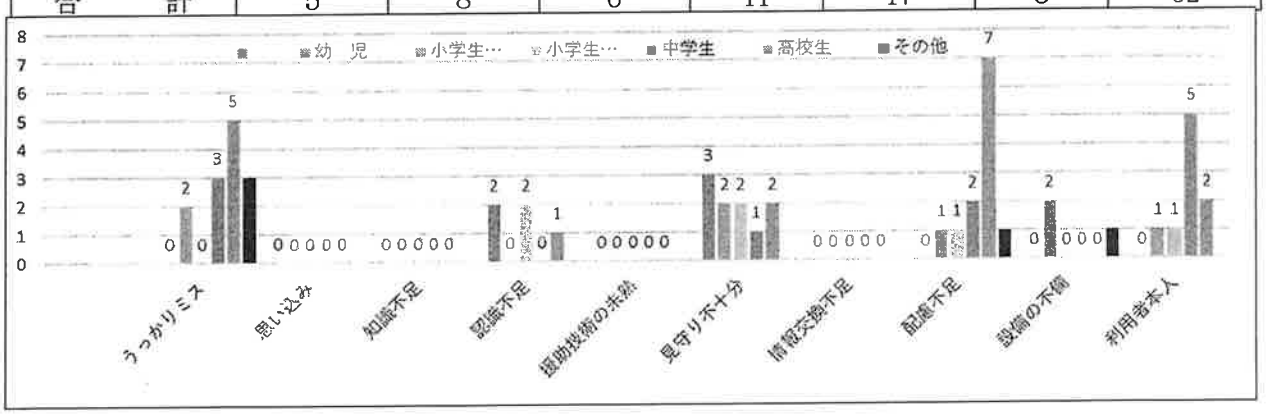
項　　目	内　　容
感染症対策	感染症対策員会が中心になり、新型コロナウィルスやインフルエンザの感染予防の他、種々の予防接種を奨励し実施しました。
避難訓練	毎月、地震や火災を想定した消火訓練、避難訓練を実施しました。
職員非常連絡通報訓練	非常事態を想定して連絡体制の確認の訓練を実施しました。
施設内外の危険箇所の点検	毎月１回、リスクマネジメント委員会による施設内外の危険箇所を点検し安全対策を講じました。
自転車の点検	４月に自転車の点検を行い、不具合があれば修理しました。
遊具の安全点検	毎月、リスクマネジメント委員会による遊具の安全確認を実施するとともに年１回、専門業者による遊具の安全点検を行いました。
非常食の備蓄	災害時に備え、非常食の備蓄を行いました。（120 人分×３日分）
災害時の備品等の購入	災害時等に備え乾電池、救急セット等を購入しました。 感染症対策としてパーテーション、対策用品を購入しました。
マニュアル等の見直し	防災関係のマニュアルをはじめ災害時の安否確認方法や連絡網の整備を行いました。

３－⑾　避難訓練の実施状況

月　日	想　　定	参加者	目　　的
R７．４.25	調理室からの火災	25 名	避難経路と幼児介助及び職員の役割確認 幼児介助のメンバーを確認する。
R７．５.21	震度４の地震（余震あり）	44 名	職員の指示に従って落ち着いて避難行動ができる。
R７．６.28	機械室からの出火	38 名	放送の指示に注意し、その後の行動がとれる。
R７．７.26	地震により調理室からの出火	39 名	自衛消防組織を中心として、それぞれの役割及び正確な避難行動の方法を確認する。
R７．８.24	西側ユニットからの出火 （ミカエルホーム）	40 名	避難経路を確認しながら速やかに幼児部の介助を行うことができる。
R７．９.23	アフターホームからの火災 (アントニーホーム)	38 名	外部建物火災のため出火状況を確認し適切な避難行動と初期消火活動ができる。
R７.10.26	心理棟（マリア院）からの出火	33 名	避難経路を確認しながら、速やかに避難行動ができる。
R７.11.12	親子訓練室からの出火	32 名	避難経路を確認しながら速やかに避難、行動が出来る。
R７.12.26	西側ユニット(ガブリエル)で調理中に出火	32 名	正確に出火場所を確認し適切な幼児の介助が出来る。
R８．１.30	東側ユニット(テレサ)からの出火	29 名	身の安全確保を最優先に行う。通報マニュアルに従い正確に通報することができる。
R８．２．９	震度５弱の地震	30 名	避難経路を確認しながら速やかに幼児部の介助を行うことができる。
R８．３.30	地震から火災が発生	32 名	一年間の反省を踏まえた総合避難訓練。

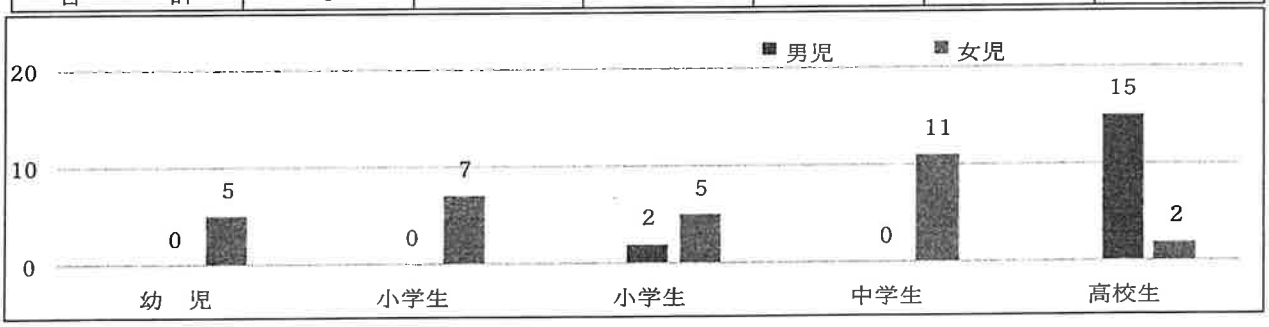
3－(12)　ヒヤリ・ハットの状況　（事故・怪我含む 延べ人数）

分類＼対象児	幼　児	小学生 1～3年	小学生 4～6年	中学生	高校生	その他	合　計
うっかりミス	0	2	0	3	5	3	13
思い込み	0	0	0	0	0	0	0
知識不足	0	0	0	0	0	0	0
認識不足	2	0	2	0	1	0	5
援助技術の未熟	0	0	0	0	0	0	0
見守り不十分	3	2	2	1	2	0	10
情報交換不足	0	0	0	0	0	0	0
配慮不足	0	1	1	2	7	1	12
設備の不備	0	2	0	0	0	1	3
利用者本人	0	1	1	5	2	0	9
合　　計	5	8	6	11	17	5	52



3－(13)　ヒヤリ・ハット（学年・男女別）

＼	幼　児	小学生 1～3年	小学生 4～6年	中学生	高校生	合　計
男　　児	0	0	2	0	15	17
女　　児	5	7	5	11	2	30
合　　計	5	7	7	11	17	47



【考　察】

令和７年度は 52 件と昨年度よりも少ない件数となりました。内容としては服薬に関してのヒヤリ・ハットが多くを占めています。服薬をしている児童が多く各ホームでの服薬の見守りと処方時間について改めて見直す必要があります。また、服薬管理及び配薬は看護師を中心に実施していますが、ダブルチェック等の体制を更に強化する必要があります。

分類分けでは「認識不足」、「見守りの不十分」、「配慮不足」の件数が多いことから職員の日々の養育内容の振り返りや見直しが必要です。

４　養育関係

４－(1)　ユニットの編成（令和８年３月１日現在：一時保護含む）

区　分	ホーム名	対象児	居室児童数		
			男	女	計
本　園（小グループケア）	ミカエルホーム	学　童	6	0	6
〃	フランシスコホーム	学　童	6	0	6
〃	ガブリエルホーム	幼児・学童	0	5	5
〃	ルカホーム	学　童	0	6	6
〃	テレサホーム	幼児・学童	0	5	5
本　園　計			12	16	28
地域小規模児童養護施設	マリアホーム	学　童	5	0	5
合　　計			17	16	33

４－(2)　令和７年度の養育関係重点施策の自己評価

	重点施策項目	具体的な成果や問題点・課題
1	児童の意見・意向を尊重した養育	児童の意見聴取に取り組み、施設運営や生活に反映されています。県の事業である意見表明等支援（子どもアドボカシー）事業にも積極的に関わりました。 課題としては、聴取した意見や要望を如何にフィードバックしていくかが挙げられます。
2	自立支援計画充実と個別化	児童一人ひとりの成長に合わせた自立支援計画を作成し将来を見据えた支援を行っています。計画は年度当初に作成し半年後に見直しを行っています。 課題としては、アセスメントをしっかり行い、児童の意見等を反映したより実効性のあるものしていくことが必要です。
3	学習支援体制の充実と早期の進路選択	小学生は水曜日から金曜日までの３日間、元教員２名による学習会を実施しています。その他に学校で実施される各種検定試験等にも積極的に受験するように奨励しています。 中学３年生と高校３年生は希望する進学先、就職先を決定することができました。高校生は一人暮らしを体験する生活自立訓練を積極的に実施しました。
4	情報の共有と適正な記録・管理	情報を共有化することが業務の効率化や良い養育支援につながることを理解し業務を進めています。必要に応じてラインワークスを利用し情報の迅速化、共有化を図っています。また、報告・連絡・相談が機能するよう引継ぎ等を重視し遺漏のないように努めました。更に適正な記録と管理体制の強化を図るために園内研修等で記録の仕方について研修を実施しました。
6	入所前から退園後の支援体制の仕組み作り	施設を利用する前の児童や保護者に対しては入所前の施設見学を実施し不安を少なくし新しい生活をイメージできるようにしています。また、入所時にも施設が提供するサービスについて「施設利用説明書」をもとに説明し同意を得ています。 課題としては、退所前のリービングケアと退所後のアフターを担う自立支援専門相談員の配置等が挙げられます。

４－(3)　自治会の開催状況

実施日	参加児童	参加職員	会　議　内　容
R７．４．１	15	4	・園遊会について（園遊会の出店・係決め） ・転地養護について（開催日程、場所決め）
R７．４．19	17	2	・園遊会についてについて ・転地養護について　・携帯電話等の使用について
R７．５．10	17	1	・園遊会の反省等について ・転地養護について
R７．５．24	16	2	・にじっこフェスタについて ・転地養護について
R７．６．29	20	2	・転地養護について ・SNS の使い方について
R７．７．18	14	3	・夏休みの生活について　・転地養護について ・ライオンズ夏祭りについて　・一関夏祭りについて　他
R７．９．７	21	3	・生活について ・SNS について
R７．10．５	20	1	・運動会について　・福光園との交流会について ・生活、メディアについて
R７．11．９	19	2	・クリスマス会について　・こどもクリスマス会について ・冬の行事について
R８．１．18	15	1	・新自治会役員の選出について ・３送会について
R８．２．18	15	1	・冬休みの振り返りについて　・３送会について ・令和７年度新自治会役員選出について
R８．２．23	19	1	・Wi-Fi 利用について ・その他

４－(4)　自立生活訓練の状況

実施期間	対象児	内　容	場　所	期間
R７．５．24～５．25	高校２年女児	一定の生活費による生活訓練	ラファエルホーム	２日間
R７．６．７～６．８	高校２年女児	〃	ヨゼフ寮	２日間
R７．８．14～8．16	高校２年女児	〃	ラファエルホーム	３日間
R７．11．２～11．８	高校２年女児	〃	ヨゼフ寮	７日間
R７．12．23～12．25	高校３年男児	〃	ヨゼフ寮	３日間
R８．１．９～１．11	高校２年女児	〃	ラファエルホーム	３日間
R８．１．12～１．18	高校２年女児	〃	ラファエルホーム	７日間
R８．３．４～３．８	高校２年男児	〃	ヨゼフ寮	５日間
R８．３．10～３．19	高校２年男児	〃	ヨゼフ寮	10 日間
R８．３．23～3．26	高校２年女児	〃	ラファエルホーム	４日間

４－(5)　家庭支援（アフターケア）の状況

項　目	内　容
家庭訪問	家庭復帰後のアフターケアとして家庭訪問を実施
学校・幼稚園訪問	家庭復帰後の学校での状況についての状況確認
家庭・会社訪問	電話や訪問等にて状況確認、相談支援

４－(6)　機能強化推進対象事業の状況

実施日	事業名	名　　称	内　　容
年　間	心身機能低下防止事業	食育（野菜の栽培）	食育の一環として、近隣の畑を借りて野菜を栽培しました。
年　間	〃	スポーツ少年団の活動	年間を通して地域のスポーツ少年団に入団し保護者会等の連携を図りました。
年　間	〃	地域交流行事	園遊会、運動会、クリスマス会に学校の先生や地域の方々を招待しました。
年　間	総合防災対策強化事業	非常食の備蓄・感染症対策	非常食の備蓄（120 人×３日間） 備品等の購入

４－(7)　ホーム行事の状況

実施日	ホーム名	内　　容
R７．５．６	テレサホーム	北上市で買い物、昼・夕食
R７．８．５	ガブリエルホーム	宮城県石巻市で映画鑑賞、夕食
R７．８．８	マリアホーム	仙台市で映画・七夕鑑賞、昼食
R７．８．13	フランシスコホーム	宮城県利府町で買い物、昼食
R７．８．17	ルカホーム	一関市で夕食
R７．８．23	テレサホーム	盛岡市で映画鑑賞、昼食
R７．10．５	テレサホーム	宮城県利府町で買い物、仙台市で水族館観覧
R７．11．３	ガブリエルホーム	宮城県利府町で買い物、VS パーク、映画鑑賞
R７．12．14	ルカホーム	盛岡市で映画鑑賞、温泉入浴
R８．１．25	テレサホーム	盛岡市で買い物、ラウンドワン
R８．２．21～22	マリアホーム	秋保温泉に宿泊、仙台市で買い物、昼・夕食
R８．３．７	ガブリエルホーム	一関市で映画鑑賞、夕食
R８．３．15	テレサホーム	一関市でいちご狩り、昼食
R８．３．19	ルカホーム	宮城県利府町で映画鑑賞、VS パーク
R８．３．20	ガブリエルホーム	仙台市で昼食、買い物
R８．３．22	テレサホーム	石巻市で映画鑑賞
R８．３．26	ミカエルホーム	仙台市で買い物
R８．３．24	フランシスコホーム	仙台市で水族館観覧。
R８．３．27	フランシスコホーム	宮城県利府町で VS パーク

※　その他に児童の誕生日に担当職員と誕生日外食を実施。

４－(8)　民区・地域との交流の状況

日　時	内　　容	備　　考
年２回	市内一斉清掃	子どもと職員が参加
７月	一関市夏祭り太鼓の練習	一関市の夏まつりに向けて体育館で太鼓の練習
７月	民区子ども会ラジオ体操	民区行事としてラジオ体操に参加
年間	スポーツ少年団活動	地域のサッカー等のスポーツ少年団に参加（６名）

４－(9)　行事食の状況

月	行　　事	献　　立　　名
4月	入学式　入園式 復活祭	油淋鶏　刺身　筑前煮　手作りデザート 骨付き鶏もも肉・フレンチサラダ・フライドポテト
5月	憲法記念日 みどりの日 こどもの日 開園記念日 運動会	焼き肉・デザート お好み焼き・オムライス マイサンド・からあげ お赤飯　お刺身　茄子の揚げびたし　紅白大福 おいなりさん・サンドイッチ・からあげ　フライドポテト　フルーツ盛り合わせ
6月	希望献立	手作りハンバーグ　タコライス
7月	七　夕 丑の日 海の日	ピカタ　フルーツゼリー うなぎ丼　しじみ汁 ポッサム　ワカメスープ　大根キムチ　三色ナムル　メロン
8月	山の日 終戦記念日 ライオンズ夏祭り	マスタードチキン　ペペロンチーノ 白ぶかし　おさしみ　夏野菜の揚げびたし　胡瓜漬け おにぎり　豚汁
9月	防災の日(非常食) 敬老の日 秋分の日 手作りおやつ 丸山さんバーベキュー	アルファー米　卵スープ　焼き鳥缶　野菜炒め　ハーベスト　飲料水 韓国風のり巻き　ワカメスープ　からあげ　チョレギサラダ 秋の五目おこわ　あさり汁　骨なしたら竜田　浅漬け 抹茶プリン バーベキュー
10 月	十五夜 藤の園運動会 スポーツの日 ハロウィン 手作りおやつ	さつま芋ごはん　けんちん汁　焼き魚　おひたし　お供えだんご　果物　栗 弁当　飲み物 ビビンバ丼　ワカメスープ　キムチ漬け ディアブルチキン　人参とツナのサラダ　ペペロンチーノ カボチャのチーズケーキ
11 月	文化の日 勤労感謝の日	油淋鶏　付け合わせ野菜　南瓜のデリサラダ ピカタ　フルーツヨーグルト 手作りカボチャコロッケ
12 月	サンタニコラオ 冬　至 藤の園クリスマス会 クリスマスイブ 子どものクリスマ会 大みそか	手作りクリスマスクッキー　りんご フランスパン　カボチャグラタン オードブル　手作りサンドイッチ　フルーツ盛り合わせ ローストチキン　ミネストローネ　ローストチキン　付け合わせ野菜　ケーキ お寿司・ピザ・ドフィノワ　サラダ二シソワーズ　ローストビーフ　ケーキ盛り合わせ　フルーツ盛り合わせ 手巻き寿司　すまし汁　年越しそば　アイスケーキ
1月	お正月 七草 鏡開き 成人の日	雑煮餅　大根なます　黒豆　伊達巻　紅白かまぼこ　栗きんとん すき焼き鍋　等 七草たらこペペロンチーンｐ もち　ひきな汁 ちらし寿司　あさり汁　浅漬け　フルーツゼリー
2月	節　分 鍋の日 建国記念の日 天皇誕生日 卒園生希望献立	太巻き(キンパ)　ワカメスープ　チョレギサラダ　茶碗蒸し　豆まき(落花生) ご飯　寄せ鍋　ミックスフルーツ 白ぶかし　すまし汁　刺身　筑前煮　おひたし　フルーツ 手羽中フライドチキン　手羽中ヤンニャムチキン　大根とタコのサラダ　チーズチヂミ 唐揚げ　すまし汁　カミカミサラダ　たらこパスタ
3月	三送会 ひな祭り 卒業式　卒園式 東日本大震災の日 (非常食)	お寿司　ピザ　唐揚げ　シーザーサラダ　ラザニア　ウインナー フライドポテト　フルーツデザート盛り合わせ ちらし寿司　あさり汁　浅漬け　フルーツヨーグルト　桜もち ピカタ　付け合わせ野菜　ゆかりポテト 非常食ごはん　たまごスープ　イワシの梅煮　三つ豆　レトルトカレー

4－(10)　病院受診の状況（延べ人数）

受診科	内訳							合計
内科 小児科	発熱 風邪	腹痛 下痢	便秘	吐き気 嘔吐	卵負荷試験	点滴	その他	235（92）
	119	22	57	11	1	2	23	
耳鼻科	鼻炎・花粉症		鼻汁・鼻閉感		外・内耳炎		その他	47（9）
	16		5		14		12	
皮膚科	皮膚炎		湿疹・蕁麻疹・薬疹		アトピー性皮膚炎	アレルギー	その他	101（128）
	2		12		7	51	29	
呼吸器科	喘息			肺炎・インフルB・コロナ			その他	52（16）
	31			8			13	
泌尿器科				水腎症			その他	3（11）
				1			2	
婦人科	生理不順		PMS		妊娠・性病検査他		その他	13（37）
	1		8		2		2	
歯科	虫歯（治療・進行止め）			抜歯			その他	**41（30）**
	37			1			3	
眼科	眼鏡・コンタクト			麦粒腫・結膜炎			その他	31（4）
	7			10			14	
外科 整形外科	骨折・捻挫・打撲・打ち身		外傷		巻き爪		その他	37（47）
	5		0		4		7	
精神科	ASD	ADHD	強迫性障害	自閉症	PTSD		その他	100（154）
	10	53	11	5	3		18	
感染症	風邪・発熱	扁桃腺炎	インフルエンザ	コロナ	ノロウイルス	溶連菌	マイコプラズマ	14（54）
	0	0	2	5	0	6	0	
	肺炎	膀胱炎	ピロリ菌	手足口病	皮膚	口唇ヘルペス	リンゴ病	
	0	0	0	0	0	0	1	
ワクチン	日本脳炎	水痘	おたふく	MR	インフルエンザ	子宮頸がん	その他	64（64）
	9	2	13	5	30	2	3	
検診	幼児		歯科		眼科		その他	13（11）
	4		4		1		4	
その他	落下事故		右眉裂傷事故		原因不明点滴治療		脱水血尿	16（－）
	6		4		3		3	
合計								767（657）

※　1日平均2.1名（前年度は1.8名）

４－(11)　里親支援の実施状況

支援項目	内　　容	実施状況
家庭支生活体験 （週末里親実施状況）	入所児童を週末及び長期休暇等の連続した休暇の期間等を利用して、委託家庭において家庭生活を体験させることにより社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立の促進を図った。	週末里親対象児童４名 中１男子　１回（１日間） 中１女子　２回（４日間） 小４女子　２回（５日間） 小１女子　１回（１日間）
里親家庭訪問・相談	里親宅を訪問し養育に対する相談対応、意向調査、要望等を伺う。委託中の里子との面会を実施し支援体制の構築を図る。	委託里親（３件、７回） 未委託里親(13 件、17 回)
里親支援センター、児童相談所との連携	各関係機関と密に打ち合わせを実施し、里親支援・里親対象児童についての協議等を行う。	随時
里親登録前・基礎実習・更新実習の受入	里親登録希望者に施設職員講話、児童との関わり等、プログラムに沿って実施する。	基礎実習：１名 登録前実習：５名 更新実習：１名
各研修会・会議への参加	里親委託等推進委員会、県内里親支援勉強会等に出席し、他の里専や関係機関との情報交換や里親支援業務の確認を行う。	年 27 回
養成校実習生への講話	実習生に里親制度、里専業務について講話を実施する。また、里親出前講座を実施。	実習生：年７校　17 名 出前講座：盛岡医療　20 名
里親制度普及啓発活動 （里親パネル展示、説明会等）	里親支援センターに同行し、市役所、図書館、保健センター等での里親制度普及啓発パネル展、相談会、説明会を実施する。	県内 25 か所
施設主催里親サロンの開催	施設主催の里親サロンを開催し、児童、里親、関係機関等との交流を図る。（年３回）	①　６/21　参加者　21 名 ②　９/21　参加者　11 名 ③　11/15　参加者　４名

４－(12)　夏季・冬季一時里親事業の実施状況

時　季	対象児童	措置機関	期　間	委託先	日　数
夏　季	年中女児	一関	８月 10 日	奥州市	１日間
	小学１年女子	一関	８月 11 日	奥州市	１日間
	小学２年女子	一関	８月 14 日～15 日	一関市	２日間
	中学１年男子	一関	８月 14 日	奥州市	１日間
冬　季	年中女児	一関	１月４日	奥州市	１日間
	小学１年女子	一関	１月４日	奥州市	１日間
	小学２年女子	一関	１月１日～２日	一関市	２日間
	小学４年女子	一関	１月３日～４日	奥州市	２日間
	中学１年女子	一関	12 月 30～31 日	奥州市	２日間

５　人事・労務・人材育成関係

５－⑴　令和７年度人事・労務・研修の重点施策の評価

	重点施策項目	具体的成果や課題
1	人材確保と職員の適正配置	４月に２名の学卒者を採用し38名の職員でスタートしました。職員配置が厳しい状況からハローワークや大学に求人を出していますが、応募が皆無の状況にあります。キャリタス（就活生の求人サイト）や社会的養護総合情報サイト「ちゃぼナビ」に求人登録しましたが、より工夫した求人活動を展開していく必要があります。
2	業務内容の見直しと改善	業務内容を把握し職員のフォロー体制の充実を図りました。ホームで完結するのではなく、児童の送迎などホーム間で業務を分担するなど工夫しながら業務に当たりました。また、必要に応じて専門職がフォローに入るなど職員の協力体制の充実に努めました。そのためにも業務内容を把握し、事前の話し合いと確認の徹底を図っています。
3	働きやすい職場の推進	若い職員が多いことから若い職員の意識・意向を汲み取りながら若い職員が働きやすい労働環境の整備を図っています。また、子育てをしながら働いている職員に対しては柔軟な働き方ができるように配慮しています。更に不妊治療特別休暇を年５日取得できるように就業規則を改正しました。
4	職員の教育・研修の充実	外部研修については、階層別・職種別の研修会に積極的に職員を派遣することができました。また、児童養護施設藤聖母園（青森市）との職員の交換実習や他施設との見学や情報交換会など、若い職員のニーズに応える研修を実施しました。 また、新任職員に対しては、毎週１回、フォローアップ研修を実施しました。
5	職員の心身の健康に配慮した職場の推進	対人サービスを基本とする業務であることから職員の心身の健康に配慮した施設運営に努めました。管理職や基幹的職員、公認心理士による職員への面談や相談事への助言等を実施しています。

５－⑵　職員の状況（令和８年３月31日現在）

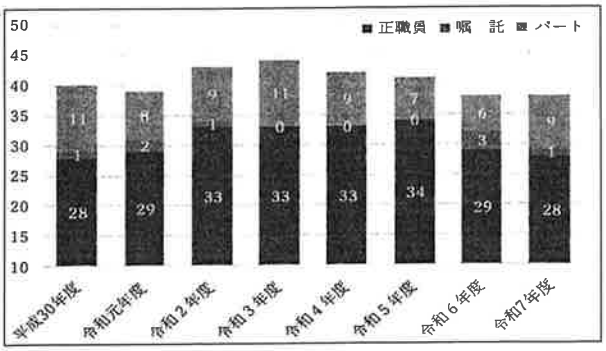
職種	園長	副園長	出納員	事務員	基幹的	指導員	保育士	栄養士	調理員	FSW	個別	心理	看護師	里親	宿直員	合計
正職員	1	1	1	1	2	5	13		3	(2)	(1)		1			28 (3)
嘱託職員														1		1
パート職員						1	5								3	9
現員数	1	1	1	1	2	6	18		3	(2)	(1)		1	1	3	38 (3)

FSW業務・・副園長、基幹的職員兼務、個別対応職員・・基幹的職員兼務

・採用者　・保育士２名（正職/学卒：R７．４．１付）　調理員１名（正職：R７．７．１付）
・退職者　・保育士２名（正職/学卒：R８．３.31付）
・人事異動　・調理員１名（正職：法人本部へ異動：R７.11.１付）

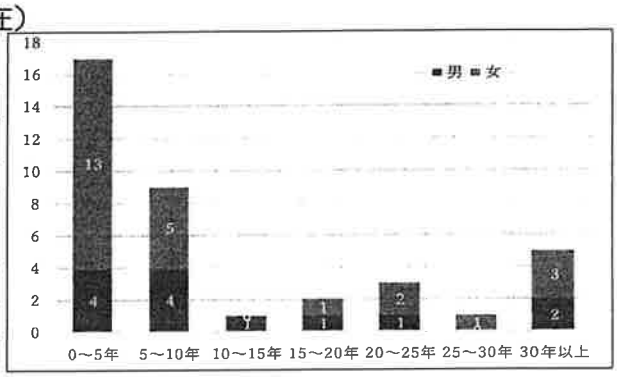
5－(3)　職員数の推移（令和８年３月31日現在）

年　度	正職員	嘱　託	パート	計
令和７年度	28	1	9	38
令和６年度	29	3	6	38
令和５年度	34	0	7	41
令和４年度	33	0	9	42
令和３年度	33	0	11	44
令和２年度	33	1	9	43
令和元年度	29	2	8	39
平成30年度	28	1	11	40



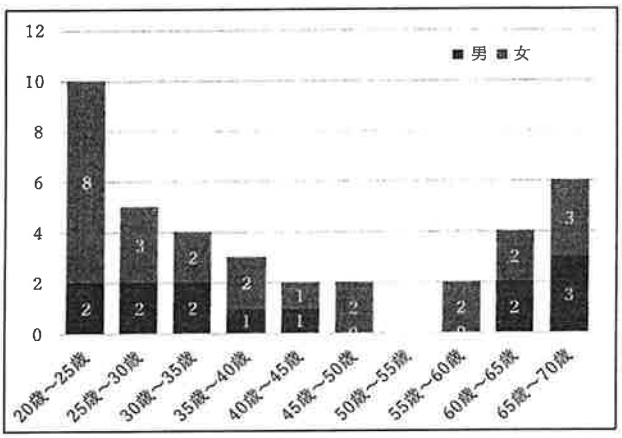
5－(4)　職員の経験年数（令和８年３月31日現在）

経験年数	男	女	計	率
０　～　５　年	4	13	17	44%
５　～　１０　年	4	5	9	24%
１０～１５　年	1	0	1	3%
１５～２０　年	1	1	2	5%
２０～２５　年	1	2	3	8%
２５～３０　年	0	1	1	3%
３０　年　以　上	2	3	5	13%
計	13	25	38	100%



5－(5)　職員の年齢別内訳

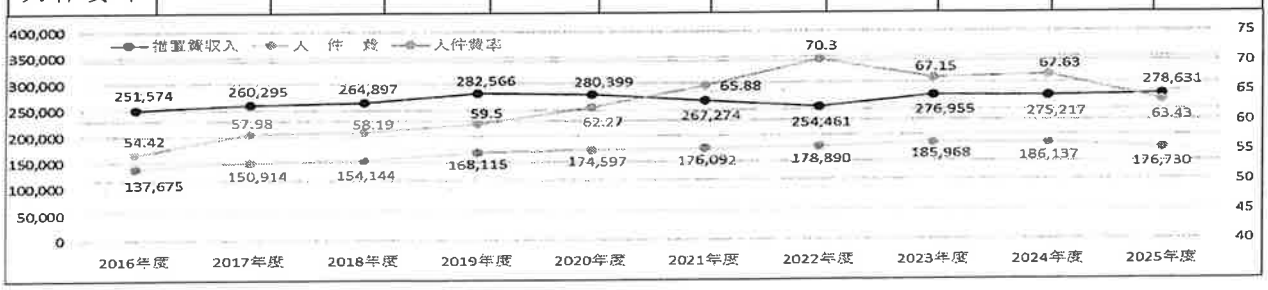
年　代	男	女	計	率
20歳～25歳	2	8	10	26%
25歳～30歳	2	3	5	13%
30歳～35歳	2	2	4	11%
35歳～40歳	1	2	3	8%
40歳～45歳	1	1	2	5%
45歳～50歳	0	2	2	5%
50歳～55歳	0	0	0	0%
55歳～60歳	0	2	2	5%
60歳～65歳	2	2	4	11%
65歳～70歳	3	3	6	16%
計	13	25	38	100%



5－(6)　人件費の推移（事業活動収支計算書より）

（単位：千円・％）

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
措置費収入	251,574	260,295	264,897	282,566	280,399	267,274	254,461	276,955	275,217	278,631
人　件　費	137,675	150,914	154,144	168,115	174,597	176,092	178,890	185,968	186,137	176,730
人件費率	54.42	57.98	58.19	59.50	62.27	65.88	70.30	67.15	67.63	63.43



５－(7)　内部研修の状況

日　時	研修名	参加者	研修内容
R6.3月～ R7.3月	新任職員研修 （園長、副園長、基幹的職員等）	2	新任職員を対象に基本理念、養育、職員としての基本的な事項について理解を深める。
R7.5月～7月 計17回	福祉サービス第三者評価 自主評価	在勤 職員	共通・内容評価項目について自主評価を行い、取り組みの振り返りと改善策について話し合う。
R７．５．28 R７．６．11	第三者評価　評価基準研修	25	第三者評価の概要の説明、自己評価方法等に関する説明・演習を行い、受審に向けて理解を深める。
R７．６．20	吐物処理研修	10	経験年数の浅い職員を対象に吐物処理について演習を実施する。
R７．８．27	意見表明等支援事業説明会	27	ふたば代表理事の櫻氏からこどもアドボカシーの概要やアドボケイトの活動の説明を受ける。
R７．９．17	性教育の基礎～大切な存在だと伝えられる大人になるために～　岩手大学　古橋 綾　氏	28	包括的性教育や現代社会が抱える性課題について、データを基に理解を深める。
R７．９．17	普通救命講習	23	一関市消防本部による心肺蘇生法やＡＥＤの使い方について、普通救命講習Ⅰを受講する。
R７．11．４	清光学園との情報交換会	9	清光学園の職員を迎え、お互いの施設の現状と課題等について情報交換をする。
R７．11．12	感染症について 一関保健所　渡渕 かな 氏	20	感染症の諸症状や予防対策、消毒方向などを聞き、理解を深める。
R７．12．22 R８．３．３	性教育について 岩手県立大学　大久保 牧子 氏	19	子どもの言動の背景を理解して関わる ～愛着とウェルビーイングの視点から～など

５－(8)　外部研修等の状況

日　時	研修名	主催団体名	開催場所	参加職員名
５．17～19	SBI東日本第21回前期研修	SBI子ども希望財団	東京都	千葉奨
５．29～30	日本カトリック全国大会	日本カトリック協会	秋田県	渡部　他２名
６．19～20	東北Ｂ児童養護施設研修会	東北Ｂ児童協	盛岡市	渡部　他５名
６．24	こども権利擁護環境整備研修	岩手県	盛岡市	千葉美　他２名
７．７	安全委員会オンライン研修	安全委員会連絡協議会	ZOOM	吉田　他８人
７．15	里専・FSW合同勉強会	岩手県児童養護施設協議会		遠藤　佐藤
８．30～31	児童家庭支援ＳＷ研修	日本社会福祉士会	東京都	吉田
９．10～12	藤聖母園交換実習	一関藤の園・藤聖母園	青森県	狩野、藤原
９．25～26	東北Ｂ専門職研修会	東北Ｂ児童協	青森県	遠藤　他２名
９．29	安全委員会オンライン研修	安全委員会連絡協議会	ZOOM	吉田　他５名
10．６～７	事務福利厚生部県外施設研修	岩手県児童養護施設協議会	秋田県	宮守　他４名
10．８～９	新任職員研修	岩手県社会福祉事業団	盛岡市	小笠原　木村
10．10	児童福祉施設職員研修会	岩手県児童福祉施設協議会	盛岡市	渡部　他２名
10．16	発達障がい基礎研修	岩手県療育センター	ZOOM	吉田　他６名
10．21	岩養協職員研修会	岩手県児童養護施設協議会	大船渡市	千葉美　他２名
10．28～29	安全委員会全国大会	安全委員会連絡協議会	広島県	吉田
11．６～７	防火管理者講習	日本防火・防災協会	奥州市	岩沼
11．11	里専・FSW合同勉強会	岩手県児童養護施設協議会		遠藤　佐藤
11．11～13	全国児童養護施設長研修会	全国児童養護施設協議会	郡山市	渡部　遠藤玄
11．22～24	SBI東日本第21回後期研修	SBI子ども希望財団	東京都	千葉奨
１．16	安全委員会オンライン研修	安全委員会連絡協議会	ZOOM	吉田　他２名
１．20～21	東北Ｂ児童養護施設長研修	東北Ｂ児童協	盛岡市	渡部
２．９	権利擁護セミナー	全国児童養護施設協議会	盛岡市	渡部　他３名
２．19	岩養協全体研修会	岩手県児童養護施設協議会	盛岡市	渡部　他３名
２．20	施設見学（青雲荘）	一関藤の園	盛岡市	渡部　他３名

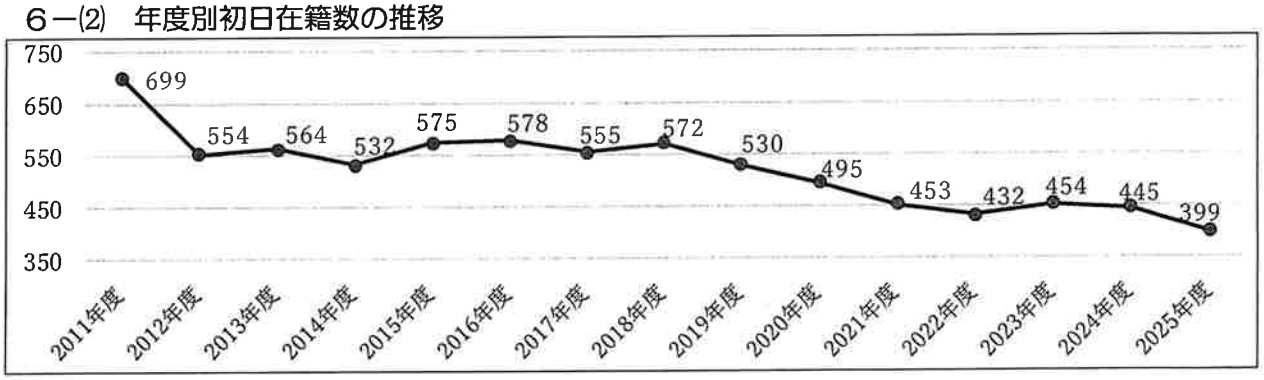
６　入所児童に関する統計

６－(1)　初日在籍数

下段（　）は前年度

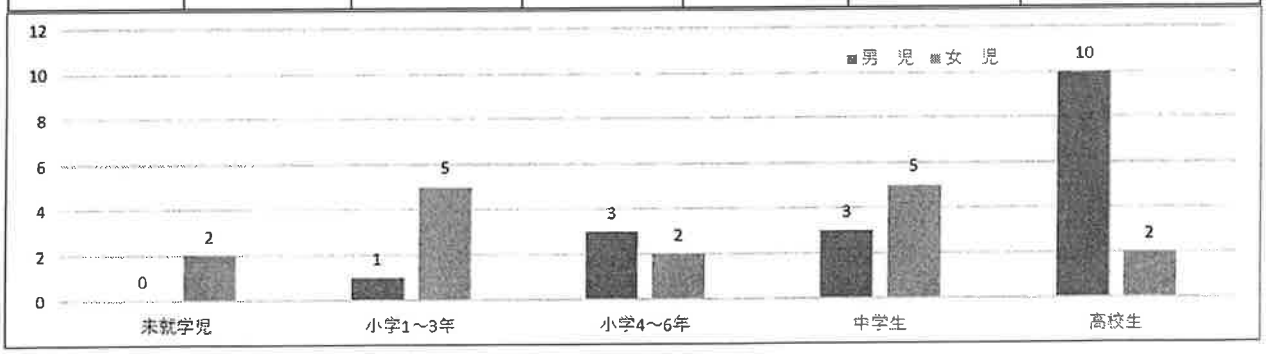
区分/月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月	計
未就学児	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	2 (3)	24 (36)
小学生	11 (14)	11 (14)	11 (14)	11 (14)	11 (14)	11 (14)	11 (14)	11 (14)	11 (14)	11 (14)	10 (14)	11 (14)	131 (168)
中学生	8 (5)	8 (5)	9 (5)	9 (5)	9 (5)	9 (5)	9 (5)	9 (5)	9 (5)	8 (5)	8 (5)	8 (5)	103 (60)
高校生他	10 (16)	11 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	12 (15)	141 (181)
計	31 (38)	32 (37)	34 (37)	34 (37)	34 (37)	34 (37)	34 (37)	34 (37)	34 (37)	32 (37)	33 (37)	33 (37)	399 (445)

６－(2)　年度別初日在籍数の推移



６－(3)　学年別の内訳（令和８年３月１日現在）

	未就学児	小学 1～3 年	小学 4～6 年	中学生	高校生	計
男　児	0	1	3	3	10	17
女　児	2	5	2	5	2	16
計	2	6	5	8	12	33
率	6.1	18.2	15.2	24.2	36.4	100.0

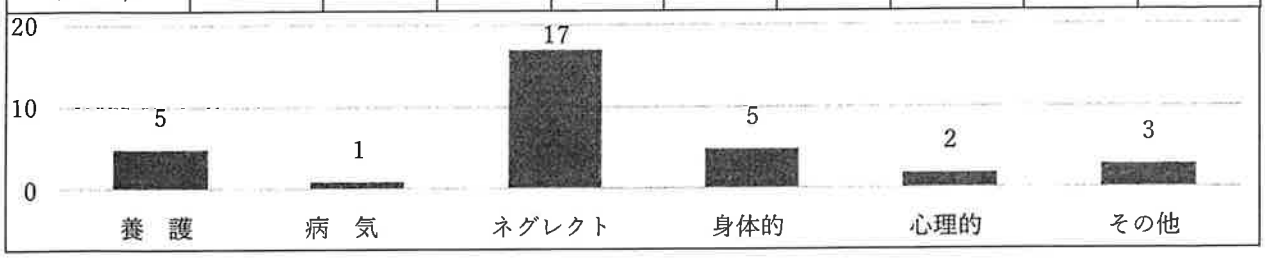


≪在籍高校名≫

一関工業高等学校　花泉高等学校　水沢農業高等学校　清明支援学校高等部　一関修紅高等学校
杜陵高等学校奥州校

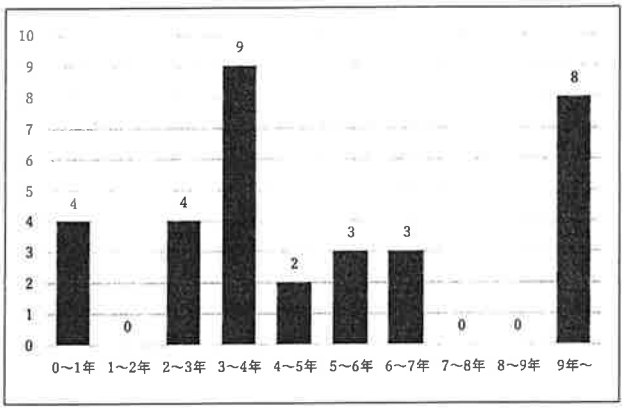
６－(4)　入所理由別内訳（令和８年３月１日現在）

理　由	養　護	病　気 入　院	父　母 行方不明	精　神 障　害	ネグレクト	身体的 虐　待	心理的 虐　待	その他	計
児童数	5	1	0	0	17	5	2	3	33
比　率	15.2	3.0	0.0	0.0	51.5	15.2	6.1	9.1	100.0



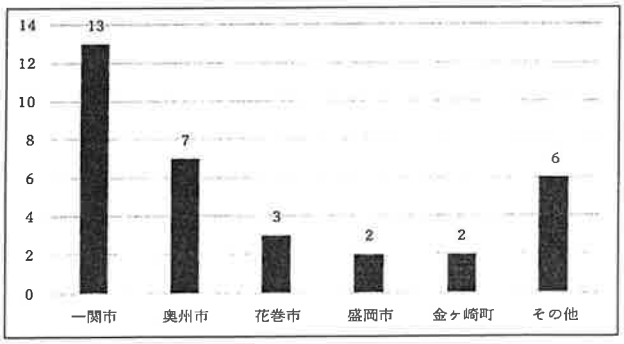
６－(5)　在園期間の内訳（令和８年３月１日現在）

	男　児	女　児	計	率
0～1年	3	1	4	12.1
1～2年	0	0	0	0.0
2～3年	3	1	4	12.1
3～4年	0	9	9	27.3
4～5年	1	1	2	6.1
5～6年	3	0	3	9.1
6～7年	2	1	3	9.1
7～8年	0	0	0	0.0
8～9年	0	0	0	0.0
9年～	5	3	8	24.2
計	17	16	33	100.0



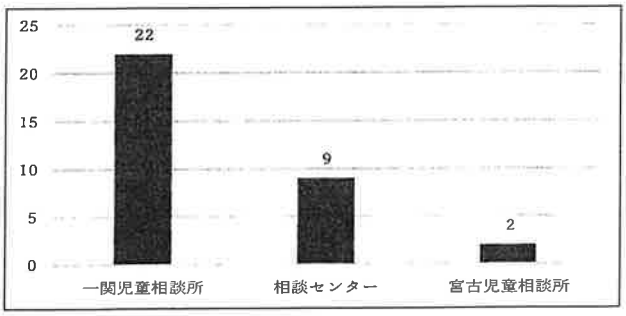
６－(6)　入所時住所内訳（令和８年３月１日現在）

市町村名	人数	率（%）
一関市	13	39.4
奥州市	7	21.2
花巻市	3	9.1
盛岡市	2	6.1
金ヶ崎町	2	6.1
その他	6	18.2
計	33	100.0



６－(7)　措置機関別内訳（令和８年３月１日現在）

措置機関名	人数	率（%）
一関児童相談所	22	66.7
岩手県福祉総合相談センター	9	27.3
宮古児童相談所	2	6.0
計	33	100.0



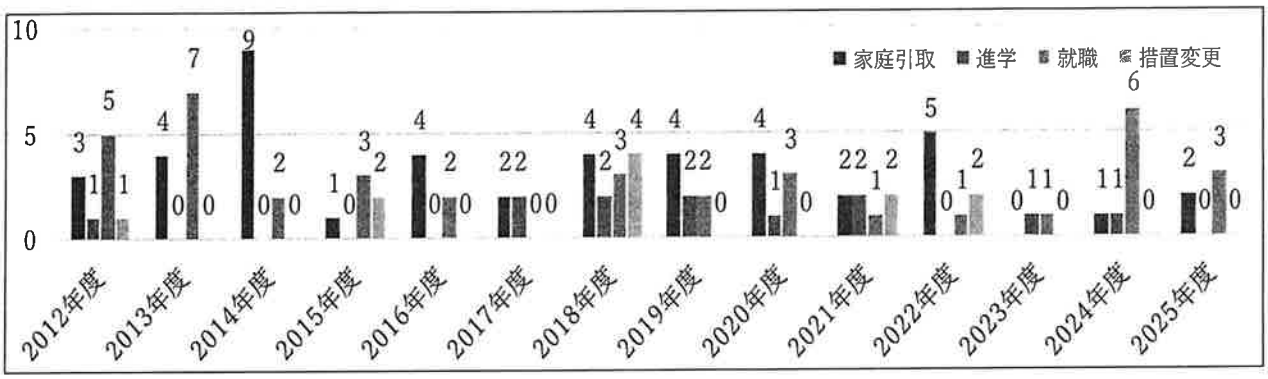
６－(8)　入所退所の状況

区分/月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
入　所	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
退　所	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	5

６－(9)　退所理由別内訳（令和８年３月31日現在）

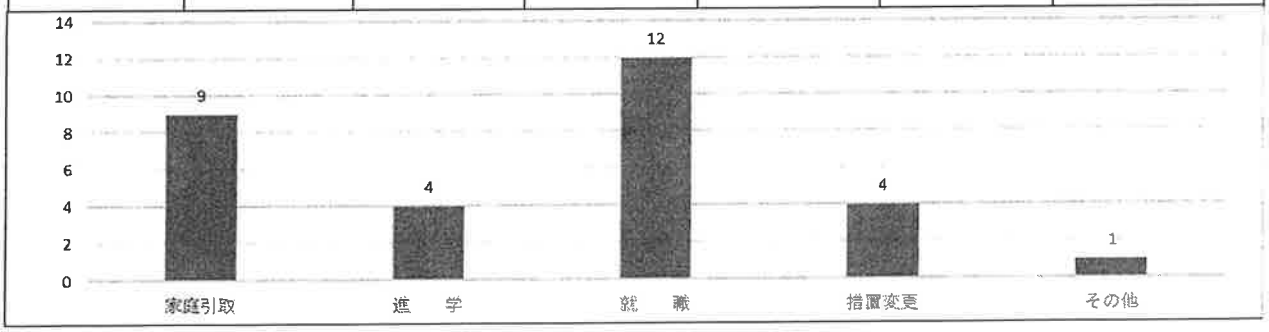
理　由	家庭引取	進　　学	就　　職	措置変更	その他	計
児童数	2	0	3	0	0	5

６－(10)　年度別退所原因別内訳の推移



６－(11)　直近５年間の退所理由

理　由	家庭引取	進　　学	就　　職	措置変更	その他	計
児童数	9 （30%）	4 （13%）	12 （40%）	4 （13%）	1 （３%）	30 （100%）



令和３年度から令和７年度までの５年間で退所者30名でした。内訳は家庭引取９名（30%）、就職12名（40%）、進学４名（13%）、措置変更４名（13%）、その他１名（３%）となっています。

中学卒業後の進路は高校進学17名（100%）でした。そのうち高校卒業者は14名（82%）、中退者は３名（18%）となっています。高校卒業後の進路は就職が10名（71%）、進学が４名（29%）となっています。

令和７年度

３　事　業　報　告　書

（自）令和７年４月１日（至）令和８年３月31日

社会福祉法人　ふじの園

認定こども園一関藤保育園

1. 認定こども園一関藤保育園基本理念・基本方針

◇社会福祉法人ふじの園基本理念・教育保育理念

『キリストの愛と光によって導かれた
子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

◇基本方針

キリスト教精神に基づき、可能性に満ちた一人ひとりの子どもたちは、より善いものを指向できる自由意志、美しい物に感動する豊かな感性を備えている。神から与えられたかけがえのない人格として受けとめ個々の与えられた内的、外的生命力を十分発揮できるように相互の人格を尊重し、他者の立場を理解し合うことにより、思いやりや豊な社会性が身につくように育む。

◇事業目的

就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づいて、心身ともに健やかに育成されるよう乳幼児期の教育、保育を行うほか、満3歳以上の子どもに対し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に掲げる目標が達成されるよう教育を行うことを目的とする。

2. 施設運営関係

◎施設運営の総括

幼保連携型認定こども園事業費収入の幼稚園型預かり保育事業、延長保育事業は実施できたが障がい児保育事業対象児童がいないため実施の対象外となる。教育認定は幼稚園型預かり保育の新2号児と満3歳児対象児童で13名。保育認定児は92名。定員105名に対し充足率100%でスタートすることができた。運営費となる園児数による施設型給付費に、給付費等加算は基本加算部分の処遇改善加算・副園長配置・給食実施・副食費徴収免除（1号・2号児）・チーム保育加算、冷暖房・栄養管理加算は年間を通じ加算された。年長児と小学生の交流活動架け橋プロジェクトの実施により小学校接続加算が対象となった。

保護者参加の行事については、5月に年少児・年中児・年長児クラス親子バス遠足として、大型バス4台にて目的地八木山動物公園に66組の親子、引率職員8名。

6月に年少児・年中児・年長児クラスの保育参観を実施する。朝のお集まりの様子や自由選択活動でモンテッソーリ教具を使っての活動、親子で七夕製作やゲームを楽しんだ。昼食は手作り弁当を親子で食べたり、保護者には試食もあり、とても喜んで食べていた。味付けの参考になったとの声も多かった。

お楽しみ会も保護者参加で7月に開催。子ども達は浴衣や甚平姿で昔ながらのヨーヨーつりや、わなげ、くじ引きなどゲームを親子で楽しむことが出来た。給食担当が試食コーナーを設け、手作りがんずきを提供する。

9月中旬の運動会は、、昨今の暑さ対策や駐車場を考え、南小学校体育館からユードーム サブアリーナに場所を変え、観客制限無で開催する。各クラス思考を凝らした競技やかわいい遊戯、白熱の紅白リレーなど発表することができた。制限をなくし2年目で0歳児親子競技・祖父母の競技も加え、大勢の声援を受けながら子どもたちも楽しく元気に行事参加することが出来た。
下旬から年少、年中、年長児の保護者対象に担任との個人面談を実施する。

11月には0・1・2歳児クラスの保育参観を実施する。親子でわらべ歌遊び、園での日常ビデオ上映会、栄養士のよる食事指導、給食参観。後日、保護者からのアンケート用紙で感想など聞き取ることが出来た。園で実際、子ども達がどのように過ごしているのか実際に見ることが出来、満足の声が多かった。

12月のクリスマスお遊戯会は金曜日の開催として2年目。未満児クラス、年少・年中クラス、年長クラスの発表の3部構成で観客無制限で開催。全てを午前中で実施。たくさんの観客が見守る中、聖劇やオペレッタ、お遊戯、合奏など年齢にあったテーマでかわいらしく発表することが出来た。

保護者参加の行事では、アンケートを実施する。意見や感想を直に聞く事が出来、次に生かせた。

3. 入所児童関係

◎入所児童の総括

認定こども園に移行6年目になり、教育認定（1号認定）枠の利用が安定してきている。定員15名に対し12名（3歳児2名・4歳児3名・5歳児7名）保育認定（2号・3号認定）は90名定員に対して93名、計105名でのスタートとなる。5歳児1名、転勤のため12月いっぱいで退園。3歳児クラスに新入園児5名を迎え、20名。新入1名は家庭から、4名は小規模園からの転園となる。保育ニーズの多い0歳児クラスは、定員5名のところ6名でスタートし、3月に1名入園となり最終的在籍7名となった。

◎年齢別入所状況

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳　児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	73
1～2歳児	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	360
3歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳以上児	49	49	49	49	49	49	49	49	49	48	48	48	585
合　計	105	105	105	105	105	105	105	105	105	104	104	105	1258

◎入所児内容概略

①　組別編成　（令和8年3月31日現在）

組　別	年　齢	人　数	保育教諭数
つぼみ組	0歳児	7	2
ちゅうりっぷ組	1歳児	12	3
たんぽぽ組	2　歳　児	18	2
もも組	3　歳　児	20	3
すみれ組	4　歳　児	26	2
ば　ら組	5　歳　児	22	2
合計		105	14

②　年齢別編成　（令和7年4月1日）

組　別	男	女	計
0歳児	1	5	6
1歳児	7	5	12
2　歳　児	11	7	18
3　歳　児	6	14	20
4　歳　児	15	11	26
5　歳　児	15	8	23
合　計	55	50	105

③　認定区分　（令和7年4月1日）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1号（教育認定）				2	3	6	11
2号（保育認定以上児）				18	23	17	58
3号（保育認定未満児）	6	12	18				36
合　計	6	12	18	20	26	23	105

4. 人事・人材育成関係

◎人事総括

保育教諭１名、看護師１名が６年度３月をもって退職したが、定員に対しての配置基準は満たしているので補充採用なしの職員 21 人体制でスタートする。看護師がいないことで与薬が必要な場合は保護者の協力を得て対応した。給食後の与薬は、１年間で１歳児１名、４歳児２名で全て溶連菌感染症対応の投薬３ケースだった。２歳児クラスは新入の１名は家庭保育からの新規入園、もう１名は転園の新入児。計２名を迎え 18 名。当初２名とも検診等では特に助言はなかったものの、ことばの遅れや情緒面での不安定さなど気になる点が見られ要観察児として保育する。２名の担任のほか主幹教諭等補助に入ることで保育の充実を図る。３歳児は小規模園からの転園児４名、一時預かり経験児の１名の５名を加え 20 名となる。この中にも２名ほど要観察児が含まれるため、配置基準３歳児は 15 名に１人のところ３名の職員配置とした。一関市児童発達支援事業所かるがも教室に通級しているのは３歳児１名、４歳児１名。また、児童発達支援を目的としている NPO 法人指定通所支援事業所「子育て支援いっすね」に通所対応児は年長児の２名である。

◎人材育成関係総括

主幹保育教諭に架け橋カリキュラム研修、虐待研修に参加。
一関保育協議会の分科会活動にも各分科会に分かれて職員が参加し研修することが出来た。モンテッソーリ教育の研修については職員同士、教具指導を行っている。東北地区研修会には２名参加する。キャリアアップ研修は、対象職員１名。保育教諭が幼児教育分野をオンラインで受講する。

実習生受け入れに関しては、４年制大学１校（石巻専修）、短期大学２校（仙台青葉短大・修紅短大）の幼児教育学科の学生と、中学生の職場体験事業３校（一関、桜町、附属中学校）、高校のインターンシップ１校（一関学院）、ボランティア活動１校（東北福祉大）、小学生の職場体験（南小 学童ひまわり）を受け入れ、実施する。

◇退職者
斎　藤　志華子（園　長）

◇採用者
川　原　裕　子（３月～）

◎配属・クラス担任　（令和７年度）

配属・クラス名		人数	配属者名
園長		1	斎藤志華子
副園長		1	佐々木利恵
主幹保育教諭		1	佐藤宏美
つぼみ組	0 歳児	2	菅原未歩・小野寺季楽
ちゅうりっぷ組	1 歳児	3	菅原優奈・菅原彩・石川京子（副主幹保育教諭）
たんぽぽ組	2 歳児	2	菅原亜耶・小野寺彩幸

もも組	3歳児	3	千田美夕紀・森谷志織・前田祥
すみれ組	4･5歳児	2	千葉友子・小野寺萌
ばら組	4･5歳児	2	宮本香・及川源一郎
給食		3	佐藤美希・大沼向日葵（栄養士） 夏堀綾香（調理員）
事務		1	山田幸枝

◎職員研修

研修名	実施日	内容	参加者
園内研修	4月24日	「法人を取り巻く環境・運営方針」	職員10名
	25日	理事長	職員10名
	7月23日	「BCP(事業継続計画)」 園長	職員10名
	10月21日	「処遇改善加算一本化」 園長	職員11名
	11月19日	「味と香りがもたらすもの」 園長 ～栄養だけではない、食べることの意味～	職員13名
	1月13日	「不審者対応」 一関警察署　生活安全課　警察官 地域課南駐在所　所長	職員10名
	2月20日	「一時保護について」 園長	職員10名
保育協議会研修	7月18日	園長部会 一関保健センター	斎藤志華子
	10月1日	たんぽぽこども園	佐々木利恵
	7月1日	マネジメント分科会 一関保健センター	山田幸枝
	8月26日	未満児分科会 一関保健センター	菅原優奈
	12月18日	一関保健センター	
	7月10日	表現分科会 萩荘市民センター	前田祥
	11月11日	萩荘市民センター	
	8月5日	人間関係分科会 修紅短期大学	及川源一郎
	11月18日	一関保健センター	
	8月9日	特別支援分科会 一関保健センター	菅原亜耶 千葉友子
	8月1日	健康分科会 一関文化センター	千田美夕紀

	8月21日	保健衛生分科会　ヒロセユードーム	宮本香
	1月7日	ヒロセユードーム	小野寺萌
	8月28日	給食分科会　一関保健センター	佐藤美希
	12月4日	一関保健所	夏堀綾香
			大沼向日葵
	11月7日	ことば分科会　一関保健センター	森谷志織
	11月26日	環境分科会　一関保健センター	小野寺季楽
各研修	7月1日	苦情対応研修　盛岡アイーナ	佐々木利恵
	9月17日	性教育の基礎　一関藤の園	佐々木利恵
	9月24日	食品衛生、栄養講演会　一合同庁舎	佐藤美希
			大沼向日葵
	10月27日	架け橋プロジェクト研修　一関保健センター	佐藤宏美
	11月13日	花巻研修センター	
	10月14日	一関保育協議会　全体研修会　ベリーノ	職員6名
	10月28日	社会福祉従事者中堅職員研修	小野寺萌
		花巻研修センター	
	11月29日	モンテッソーリ東北支部研修　郡山	千田美夕紀
			小野寺彩幸
	1月13日	不審者対応訓練研修	
		認定こども園一関藤保育園	職員10名
	1月16日	保護者支援研修　一関保健センター	小野寺萌

◎実習生・体験学習・ボランティア受け入れ状況　　◎受け入れ校9校

計21名

学校名	実習期間	人数
石巻専修大学　人間学部 人間教育学部（実習Ⅱ）	6月9日～20日	1名
仙台青葉学院短期大学こども学科（実習Ⅰ） （実習Ⅱ）	9月16日～30日 10月6日～20日	2名
東北福祉大学　社会福祉学科	8月5日	2名
修紅短期大学　幼児教育学科（実習Ⅰ）	2月13日～27日	2名

一関中学校　　2年生	9月2日～4日	3名
附属中学校　　2年生	10月22日～10月24日	2名
桜町中学校　　2年生	11月5日・6日	3名
一関学院　普通科　進学コース　　2年生	12月3日～5日	1名
南小学校　学童「ひまわり」　　6年生	2月28日	5名(職員3名)

5. 管理関係

◎職員健康管理

◇健康診断

実施日	会　場	検診の名称	一般検診追加内容	対象人数
6月　1日	アイドーム	生活習慣病予防検診	胃部X線検査	1名
6月25日	一関藤の園	一般検診		12名
10月31日	アイドーム	生活習慣病予防検診	子宮頸がん検診 乳がん検診 肝炎ウイルス検査	5名
11月19日	ユードーム	〃	〃	3名

◇腸内細菌検査（東和微生物検査所）

・対象職員　　保育教諭・給食担当職員

4月1日	5月13日	6月3日・17日	7月1日・15日
8月5日	9月2日	10月7日	11月4日
12月2日	1月6日	2月3日・17日	3月3日

：11月～3月　給食担当職員追加検査　ノロウイルス

◎児童健康管理

◇内科検診　（佐藤小児科）　5月9日　11月5日　全園児

◇歯科検診　（久保田歯科）　6月5日　全園児

◇交通安全教室（生活環境課）　6月6日　年長児・年中児　　10月3日　年長児

◎避難訓練

日時	訓練種別	想定	参加人数
4月23日	地震	震度3　時刻AM9：30 方法　緊急放送で机下　担当　森谷志織	児童81名 職員18名
5月27日	火災（総合避難訓練）	時刻AM10:00　出火場所　給食室 放送後園駐車場　担当　夏堀綾香	児童93名 職員18名
6月25日	暴風雨による水害	時刻AM10:30　大雨、園孤立2階遊戯室全員避難 担当　小野寺彩幸	児童95名 職員19名
7月14日	地震	震度2　時刻PM4:45 方法　緊急放送で机下　担当　山田幸枝	児童71名 職員11名
8月26日	不審者	時刻PM10：00キーワードによる放送　状況に応じて安全な場所に避難　担当　佐々木利恵	児童91名 職員19名
9月30日	火災（総合避難訓練）	時刻PM10：00　緊急放送で駐車場へ 担当　佐藤宏美	児童94名 職員20名
10月22日	台風・暴風雨	時刻AM9:45　身支度をして南小学校へ 担当　菅原亜耶	児童94名 職員19名
11月11日	不審者	時刻AM10：15キーワードによる放送　状況に応じて安全な場所に避難　担当　山田幸枝	児童77名 職員17名
12月6日	地震 （土曜保育中）	震度3　時刻PM3:00　緊急放送で目覚め、布団をかぶる　担当　斎藤志華子	児童12名 職員3名
1月13日	不審者	時刻AM10：15キーワードによる放送　状況に応じて安全な場所に避難　担当　菅原彩	児童92名 職員20名
2月25日	火災	時刻PM4:00　出火場所　つぼみ組調乳室 放送後園庭　担当　小野寺季楽	児童64名 職員18名
3月10日	地震直後火災発生	震度6　時刻AM10:30　放送ベル合図 様子をみて安全な場所に避難　担当 斎藤志華子	児童87名 職員21名

◇消防設備点検（文林商会）

・9月22日　　3月23日

6.年 間 行 事

月 別	行　　事			
4 月	1 進級・入園の日	9　ECC	15 クッキング（年長）	17 音楽療法
	22 職員会議	23 避難訓練	25 誕生会	24 手作り弁当の日
	4 ・25布団持ち帰り			
5 月	1 音楽療法	9 内科検診	8 巡回相談	10　ECC
	13 クッキング（年長）	15 手作り弁当の日	20 職員会議	22 マリア祭
	9 ・23布団持ち帰り	23 誕生会	27 総合避難訓練	30 親子バス遠足
6 月	4 クッキング（年長）	5 歯科検診	6 交通安全教室	6 ・20布団持ち帰り
	11　ECC	18 プール開始	19 音楽療法	20 誕生会
	25 避難訓練	27 もも・すみれ・ばら組保育参観		30 職員会議
7 月	14 避難訓練	8 音楽療法	9 ECC	18 誕生会
	23 職員会議	11 ・24布団持ち帰り	25 お楽しみ会	
8 月	5 東北福祉大　見学	6 ECC	10 ～16 夏季休業（1号認定のみ）	
	20 職員会議	22 誕生会	8 ・29布団持ち帰り	27 音楽療法
9 月	2 クッキング（年長）	3 ECC	2～4 一関中体験　2年生	
	11 ・26布団持ち帰り	12 運動会	16～30 青葉短大　幼児教育学科　実習生　実習Ⅰ	
	19 誕生会	19 職員会議	25 音楽療法	
	29 ～10/7個人面談（年長・年中・年少）		30 総合避難訓練	
10 月	3 交通安全教室	6～20青葉短大　幼児教育学科　実習生　実習		11 ・24布団持ち帰り
	16 手作り弁当の日	17 誕生会	21 職員会議	22 避難訓練
	23 音楽療法	22 ～24附属中学校　体験学習　2年生		29 ECC・ハロウィン
11 月	4 交流会（年長・南小1年生）		5 ～6桜町中体験学習2年生	
	5 内科検診	6 クッキング（年長）	7 手作り弁当の日	7 保育参観（未満児）
	11 避難訓練	12 ECC	14・28布団持ち帰り	13 音楽療法
	18 七五三	19 職員会議	28 誕生会	
12 月	2 音楽療法	3 ～5一関学院　インターンシップ2年生		5 サンタニコラオ祝祭日
	6 避難訓練	9 ・10お遊戯会総練習	12 クリスマスお遊戯会	17 ECC
	18 手作り弁当の日	19 誕生会	23 職員会議	
	23 ～1／6冬期休業（1号認定のみ）		11 ・26布団持ち帰り	29・30・31年末休み
1 月	1・2・3.年始休み	13 避難訓練	14 ECC	15 手作り弁当の日
	16・30布団持ち帰り	20 職員会議	21 クッキング	23 誕生会
	28 音楽療法			
2 月	3 節分	4 ECC	5 卒園記念写真	9 ～16新入児説明会
	13 誕生会	13 ・27布団持ち帰り	17 クッキング（年長）	19 音楽療法
	13～27　修紅短大　幼児教育学科　実習生　実習		20 職員会議	25 避難訓練
	26 手作り弁当の日			
3 月	5 音楽療法	6 誕生会	10 避難訓練	11 ECC
	12 手作り弁当の日	17 リクエスト給食	19 園内お別れ会	21 卒園式
	13・27布団持ち帰り	24 職員会議		
	30・31新年度準備	21 ～31学年末休業（1号認定のみ）		

7. 教育・保育実践の概要

○ 教育・保育方針

キリスト教的情操教育を根底とし、あたたかい雰囲気の中で子ども独自の人格の発展性を主眼としたモンテッソーリ教育法を取入れ保育する。

○ 実践内容

◎モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活動の環境を設定し、0・1・2歳児各保育室にて各年齢に合わせた取り組みで体験する。また3歳児、4・5歳児縦割りクラスでは午前中の保育時間に自由選択活動として取り入れる。集中して活動に取り組む事で自己決定、自立へと導く。

◎食育

保育園における食育は、楽しく食べる子どもに成長していくことを期待し、食べ物を選べる子・元気な体のわかる子・食べ物の育ちを感じる子・味のわかる子・料理のできる子を目指して行う。

◇クッキング保育

年数回年長児を対象に栄養士、保育教諭と共に、実際に食材に触れ、調理器具を使用し調理実習を行う。子ども達自身で調理した料理をみんなで実食する。

実施日		対象児	実施内容
4月	15日	5歳児	◎クッキング おにぎり作り(しゃけ・ツナマヨ)
5月	9日 13日	5歳児	◎野菜の苗植え (ミニトマト・えだまめ・さつまいも) ◎クッキング おにぎり作り(しゃけ・ツナマヨ) おべんとう作り(唐揚げ・ウインナー・ブロッコリー・フルーツ)
6月	4日	5歳児	◎クッキング
7月	3日	5歳児	◎梅ジュース作り:梅のヘタ取り
8月	23日	5歳児	◎野菜の収穫(えだまめ)
9月	2日	5歳児	◎クッキング アイスキャンディー
10月	8日 28日	5歳児	◎クッキング ◎野菜の収穫(さつまいも)
11月	11日 20日	5歳児	◎クッキング(いももち作り) ◎うめジュース完成　試飲
1月	21日	5歳児	◎クッキング(ケーキ作り)
2月	17日	5歳児	◎サイエンスショー
3月	17日	全園児	年長児リクエスト献立給食

✦リクエスト給食

料理の名前を覚えたり献立を考えたりすることで食への関心を深める。年長児が自分たちで献立を考え、実際に給食で食べる。

実施日	メニュー
3月17日	昼　食:マカロニグラタン・マカロニサラダ・なめこ汁・フルーツポンチ
	おやつ:ツナサンド

◎英語教室

英語に親しみを持ち、音楽やゲームを通して外国の文化に触れ楽しみながら英語を学ぶことを目的とする。

英語を使って表現することでコミュニケーションを取る楽しさを味わう。幼児期から体験することでリスニングが鍛えられ、英語に対する抵抗感がなくなるメリットがあると考える。

・対象児:年長・年中児　　月1回　1レッスン　30分　外部講師による指導

◎特別支援児保育事業

✦音楽療法

音楽を通して子どもの心を癒し、様々なセッションを行い楽しく参加することにより人と人との間で心理的なコミュニケーションを持てるように導いていく。

月1回　音楽療法士、特別支援専門員、保育教諭と実施する。

対象児:5歳児3名　4歳児2名　3歳児2名

実施日		参加対象児		実施内容
4月	17日	5歳児	3名	・はじまりの挨拶　・お楽しみ
		4歳児	2人	・タンバリン　・ビーズスティック
		計	5名	・タッチベル　・さようなら
5月	1日	5歳児	2名	・はじまりの挨拶　・アンパンマンの筒
		4歳児	2名	・ビーズスティック　・たまごマラカス　・シロフォン
		計	4名	・タンバリン　・スイカゲーム　・さようなら
6月	19日	5歳児	2名	・はじまりの挨拶　・ビーズスティック
		4歳児	2名	・ガリガリ君　・たまごマラカス
		計	4名	・シロフォン　・さようなら
7月	8日	5歳児	3名	・はじまりの挨拶　・たまごマラカス　・タッチベル
		4歳児	1名	・小さい太鼓　・オーシャンドラム　・シロフォン
		3歳児	1名	・大きい太鼓　・ビーズスティック
		計	5名	・スイカゲーム　・さようなら(ツリーチャイム)
8月	27日	5歳児	2名	・はじまりの挨拶　・タンバリン　・タッチベル
		4歳児	2名	・フルーツマラカス　・ガリガリ君　・スイカゲーム
		3歳児	1名	・オーシャンドラム　・ハムスターベル　・シロフォン
		計	5名	・ボール　・さようなら(ツリーチャイム)

9月	25日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶　・バランスボール　・太鼓
		4歳児	2名	・たまごマラカス　・オーシャンドラム　・風船
		3歳児	1名	・ビブラスラップ　・タッチベル　・ベル
		計	5名	・シロフォン　・さようなら
10月	23日	5歳児	3名	・はじまりの挨拶　・オーシャンドラム　・太鼓
		4歳児	2名	・タンバリン　・レインスティック　・黒ひげ危機一髪
		3歳児	2名	・たまごマラカス　・ハムスターベル　・ボール落とし
		計	7名	・バランスボール　・さようなら(ツリーチャイム)
11月	20日	5歳児	3名	・はじまりの挨拶　・たまごマラカス　・ベル
		4歳児	2名	・シロフォン　・黒ひげ危機一髪　・積み木
		3歳児	1名	・ビーズステイック　・ドレミパレット　・タッチベル
		計	6名	・タンバリン　・さよなら(ツリーチャイム)
12月	2日	5歳児	2名	・はじまりの挨拶　・ミュージックパッド　・タッチベル
		4歳児	2名	・ドレミプレート　・黒ひげ危機一髪　・シロフォン
		3歳児	2名	・たまごマラカス　・ハムスターベル　・ビーズスティック
		計	6名	・タンバリン　・積み木　・さようなら(ツリーチャイム)
1月	28日	5歳児	3名	・はじまりの挨拶　・黒ひげ危機一髪
		4歳児	2名	・ミュージックパッド　・羽子板
		3歳児	2名	・たまごマラカス　・ベル
		計	7名	・さようなら
2月	19日	5歳児	2名	・はじまりの挨拶　・タンバリン　・タッチベル
		4歳児	1名	・ミュージックパッド　・レインスティック　・積み木
		3歳児	2名	・たまごマラカス　・ビーズスティック
		計	5名	・ミュージックパッド　・さようなら
3月	5日	5歳児	3名	・はじまりの挨拶　・ビーズスティック
		4歳児	1名	・タンバリン　・たまごマラカス
		3歳児	2名	・ミュージックパッド　・積み木　・タッチベル
		計	6名	・シロフォン　・さようなら

✦定期巡回相談

実施日	クラス	在籍人数	対象児人数	対象児計	巡回相談員	
5月8日	3歳児	20名	2名	7名 105名	特別支援コーディネーター	2名
	4歳児	26名	2名		こども家庭課保健師	2名
	5歳児	23名	3名		かるがも教室指導員	2名
	計		7名		言語聴覚士	1名
					計	7名

8. 設備関係

◎総括

新園舎建て替えの際、グラウンドでの運動会実施を予定していたので、競技や様々な発表の場所確保のため固定遊具はフェンス周辺に定員5名ほどの小さめログハウスと雲梯の2台のみの設置。天気の良い日は主に3,4,5歳児クラスの園児が戸外遊びでグラウンドを活用しているが、ここ最近の温暖化現象による猛暑でグラウンドでの戸外遊びは水分補給など熱中症対策を十分考慮しながら取り組んでいるものの安全快適ではない。当初、予定していた自園グラウンドでの運動会開催も観客収容が十分できず、天候にも左右されることから屋内に変更。グラウンドに運動会開催の空間確保の必要がなくなったことで大型遊具の設置が可能となった。

おが～るシステム用のパソコンの容量がほぼ残ってなく、頻繁に始動時に速度や読み込みに時間がかかっていたため新機種を購入。

年・月・日	品目・工事名	業者名	勘定科目	金額
R7・4・22	おが～るシステム（パソコン・タブレット）	富士通	器具及び備品	304590
R7・9：26	グラウンド内新固定複合遊具設置工事（トロンコ・タイジュ Eタイプ）	フレーベル（株）	構築物	4224000
R7・11・1	遊戯室ステージ壁クロス張替工事	平野組（株）	修繕費	53900
R7・11・12	遊戯室ステージ壁板取り付け工事	平野組（株）	修繕費	71500
R7・11・21	網戸張替工事 指はさみ防止工事	協和木材（株）	修繕費	30440
R8・1・9～1・15	床暖房修繕工事	平野組（株）	修繕費	110000

令和７年度

４　事　業　報　告　書

（自）令和７年４月１日（至）令和８年３月31日

社会福祉法人　ふじの園

児童育成支援拠点事業・第三の居場所うぃすてりあ

令和７年度　第三の居場所うぃすてりあ事業報告

１　社会福祉法人ふじの園基本理念

- **基本理念『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』**

私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。そして、子どもたちが自分らしく幸せに生きていくことができるように、いつでもどんな時でも子どもたちを支えていきたいと願っています。

- **基本方針**

社会福祉法人ふじの園は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援します。

２　うぃすてりあの概要

⑴ 事業の種類　　児童育成支援拠点事業（第二種社会福祉事業：一関市の委託事業）
一関市こども第三の居場所推進事業（一関市の補助事業）

⑵ 事業の目的　　第三の居場所は、家庭や学校以外で子どもたちに安心して過ごせる居場所を提供し、子どもたちが信頼できる大人や友だちと過ごしながら、生活習慣や学習習慣を整え、将来の自立に向けて生き抜く力を身に付けられるように支援していくことを目的とします。

⑶ 事業所の名称　児童育成支援拠点事業・第三の居場所「うぃすてりあ」

⑷ 事業所所在地　岩手県一関市山目字前田７１－１

⑸ 電話番号　　090 - 2363 - 4744　メールアドレス　fuji.wisteria@outlook.jp

⑹ 職員構成　　所長　小野寺　雄馬　　児童支援員　柴山　遥　　支援員　滝田　貴子

⑺ 開所年月日　　令和７年４月１日

⑻ 利用定員　　２０名

⑼ 開所日及び開所時間　月曜日～金曜日
午後２時～午後８時（長期休暇期間（夏休みなど）：１０時～２０時）
（土、日、祝祭日、お盆、年末年始は閉所）

- **支援の内容**

① 安心・安全な居場所の提供
② 生活習慣の形成（片付けや手洗い・うがい等の健康管理の習慣づけ、日用品の使い方に関する助言等）
③ 学習の支援（宿題の見守り、学校の授業や進学のためのサポート等）
④ 食事の提供
⑤ 課外活動の提供
⑥ 学校、医療機関、地域団体等の関係機関との連携
⑦ 保護者への情報提供、相談支援
⑧ 送迎支援

- １日のスケジュール

14:00　宿題／個別学習
15:00　おやつ（おやつを食べながら１日の出来事をおしゃべりする）
16:00　日替わり活動（体験活動、外遊び）
17:00　読書やテレビ視聴
17:45　配膳
18:00　夕食
18:30　食器洗い・掃除
19:00　自由時間（入浴）※保護者迎え
20:00　閉所

３　令和７年度の主な出来事

日　時	主　な　出　来　事
令和 7 年	
4 月 16 日	県南広域振興局県税部　一関県税センター立ち合い調査
5 月 28 日	監査及び出納調査
6 月 6 日	第１回法人定時理事会（車両購入について・収支報告と運営状況について）
7 月 17 日	第１回法人業務連絡会
8 月 4 日	拠点送迎車両お披露目式
9 月 9 日	監査及び出納調査
9 月 18 日	第２回法人業務連絡会
10 月 29 日	登米市 B&G 海洋センター　新米贈呈式
11 月 5 日	監査及び出納調査
11 月 27 日	第２回法人定時理事会（外構工事案について・資金収支補正予算案について）
11 月 27 日	B&G 財団主催子ども第三の居場所フォローアップ研修会（東京都）※28 日迄
12 月 4 日	第３回法人業務連絡会
12 月 23 日	市内２拠点目の千厩拠点（三楽コミュニティ千厩）を視察。
令和 8 年	
1 月 15 日	第４回法人業務連絡会
2 月 3 日	監査及び出納調査
3 月 5 日	第５回法人業務連絡会
3 月 24 日	第３回法人定時理事会（令和８年度事業計画・外構工事案について・資金収支補正予算案について）

４　事業評価

- 事業目標の達成状況
  登録児童数が開所から半年以内で目標値の 20 件以上となった。
  年間を通して継続利用する子どもたちの学習支援・食事提供・生活支援を通じて基本的生活習慣の改善を図り、定着に繋げることができた。
  利用する児童が安心して利用できており、保護者も満足しているとの評価を得ている。
- 事業実施によって得られた成果
  当初は隣接学区のみの児童対象であったが学区外の児童も継続して利用できたこと。
  パンフレットやホームページ作成、新聞記事を通してボランティアの受け入れにつながった。また、寄付を申し出る個人や団体も増えてきた。
- 成功したこととその要因
  親子分離の難しいケースや放課後児童クラブ等での不適応ケースについて、児童・保護者の意向をそれぞれ確認し、利用していく中で適度な距離感を構築でき、市と連携した家庭支援ができた。
  個別的配慮に努め、一人ひとり丁寧な関わりができたことが要因である。
- 課題とその要因
  登録はしているが利用に結びつかず、退所するケースがあった。市との連携や役割分担が要因であった。今後、市と連携し児童・保護者の意向を確認しながら利用につなげていきたい。
- 事業成果物
  利用児童・保護者ともに安心できる環境で、利用できている。
  利用前まで不登校だった児童が居場所利用をきっかけに登校できるようになったこと。
  拠点での自主行事（夏祭り）を開催し、利用児童やその家族が楽しむ姿をみることができた。また、保護者同士が関わるきっかけともなった。

５　関係機関との連絡会議等の状況

日　時	機　関　名	参加職員	会　議　の　内　容
R7. 04.09	子育て支援いっすね　宮下事業所	2	利用児童の家庭状況と今後の役割分担について
R7. 04.23	滝沢小学校	2	利用児童の登校状況と今後の役割分担について
R7. 04.25	一関市こどもセンター	1	利用対象児童についての情報交換
R7. 06.09	一関市こどもセンター 一関児童相談所	1	利用児童の現状と今後について
R7.06.11	一関市こどもセンター 一関市学校教育課 滝沢小学校	1	利用児童の現状と今後の役割分担について
R7.06.27	一関市こどもセンター	1	利用対象児童についての情報交換

			夏休みの利用について
R7.07.04	一関市こどもセンター	1	利用児童の家庭状況と今後の役割分担について
R7.07.15	一関小学校	2	利用対象児童についての情報交換
R7.10.01	一関市こどもセンター	1	利用対象児童についての情報交換
R7.10.06	一関市こどもセンター 一関市学校教育課 滝沢小学校	1	利用児童の現状と今後の役割分担について
R7.10.08	一関市こどもセンター	2	アウトリーチの方法・運営状況について
R7.10.23	子育て支援いっすね　宮下事業所	2	利用児童の家庭状況と今後の役割分担について
R7.12.15	一関市こどもセンター	1	利用対象児童についての情報交換 冬休みの利用について
R7.12.16	一関市こどもセンター 一関市学校教育課 滝沢小学校	1	利用児童の現状と今後の役割分担について
R8.03.11	子育て支援いっすね　宮下事業所	1	利用児童の家庭状況と今後の役割分担について
R8.03.12	一関市こどもセンター 一関市学校教育課 滝沢小学校	1	利用児童の現状と今後の役割分担について
R8.03.18	一関市こどもセンター	1	利用対象児童についての情報交換 春休みの利用について

6　視察・見学者の状況

年　月	所　　属	人　数	備　　考
R7.04.09	子育て支援いっすね　宮下事業所	4	《見学の内容》 ・施設の概要 ・建物及び設備の説明 ・利用児童の状況
R7.06.17	岩手県子ども子育て支援室	3	
R7.06.21	岩手県里親会	１５	
R7.07.09	特定非営利活動法人ＴＥＤＩＣ	2	
R7.07.22	平泉町子育て支援課	2	
R7.08.04	特定非営利活動法人三楽	4	
R7.08.05	B&G 財団拠点担当者	1	
R7.10.07	岩手県社会福祉協議会　会員施設 事務福利厚生部県外視察研修会	19	
R7.11.06	児童養護施設清光学園	10	
R7.12.17	こども第三の居場所　千厩拠点	8	
R8.02.17	西日本こども研修センターあかし	3	
計		71 人	

7　情報公開の状況

情報公開ツール		内　　容
岩手日日 岩手日報	2025年8月9日	拠点送迎車両お披露目式について
岩手日日	2025年8月14日	事業内容紹介・内覧会について
B&G財団ホームページ	2025年8月14日	海洋性レクリエーション体験について
岩手日日	2025年11月14日	新米イベントについて
岩手日日	2025年12月25日	サンタクロースプレゼント寄付について
こども家庭センター	2026年2月17日	統括支援員研修動画

8　民区・地域との交流の状況

日　時	名　　称	参加者	内　　容
R7. 08.07	法人主催こども食堂	9	夏野菜カレー作りに当拠点の子ども達が参加
R7. 12.25	法人主催こども食堂	12	クリスマスカレー作りに当拠点の子ども達が参加
R8. 03.30	法人主催こども食堂	12	すいとん汁作りに当拠点の子ども達が参加

9　外部研修の状況

日時	研　　修　　名	主催団体名	開催場所	参加職員名
R7.04.24	「子どもの権利」とセーフガーディング研修（オンライン参加）	B&G財団	うぃすてりあ	小野寺・柴山
R7.06.26	第9回放課後勉強会（オンライン参加）	放課後NPOアフタースクール		小野寺・柴山
R7.10.07	放課後の居場所づくりを語り合うシンポジウム（オンライン参加）	放課後NPOアフタースクール		柴山
R7.10.30	第10回放課後勉強会（オンライン参加）	放課後NPOアフタースクール		小野寺
R7.11.27 11.28	「子ども第三の居場所」フォローアップ研修会	B&G財団	B&G財団ビル	小野寺

10　主な実施行事

実施内容	①海レク体験 実施日：2025 年 7 月 31 日 場所：登米市米山 B&G 海洋センター（宮城県登米市） 内容：海洋性レクリエーション体験会（水辺の安全教室・カヌー体験・モーターボート乗船体験） ②夏祭り 実施日：2025 年 8 月 9 日 場所：うぃすてりあ 内容：利用児童とその家族が参加。金魚すくい等の遊びを楽しみ、フランクフルトや焼き鳥、かき氷などを提供する。 ③精米体験・新米イベント 実施日：2025 年 11 月 7 日 場所：うぃすてりあ 内容：登米市中田 B&G 海洋センターから寄贈された新米を使っておにぎりをつくる。
活動写真	 海レク体験 夏祭り 新米イベント